

## 主体的に学び続ける生徒を育てる学習指導

－単元内自由進度学習における支援の工夫を通して－

予測困難で不確実な時代を迎える中で、どのような社会をつくり上げていくかという能動的な姿勢を生徒に育成する必要があるとされている。また、平成28年12月の中央教育審議会答申においても、主体的に学び続けて自らの能力を引き出し、自分なりに試行錯誤することの必要性が示された。

そこで本研究では、単元内自由進度学習を実施し、その支援の工夫を通して、主体的に学び続ける生徒を育てる学習指導の在り方を明らかにすることをめざした。

具体的には、課題設定、予見、遂行、自己内省の四段階の単元の学習過程において、「学習課題の工夫」、「社会科 Can-Do リスト」、「学習計画表」、「用語チェックリスト」、「振り返りシート」などの教師の支援を取り入れた授業を行った。同時に、生徒に学習の方法、形態、順序についての裁量を委ね、生徒が学習を自分で調整しながら進めていく学習環境づくりを行った。

その結果、生徒が学習の進捗を管理したり、学習の順序を組み替えたりと試行錯誤しながら学習を進めていく姿が見られた。また、自らの学び方について振り返り、よりよく学ぼうとする姿を引き出すこともできた。このことから、単元内自由進度学習において課題設定、予見、遂行、自己内省への支援を教師が行い、生徒に学習の裁量を委ねることが、主体的に学び続ける生徒を育てることにつながることがわかった。

福岡市教育センター長期研修員  
福岡市立金武中学校 中村 達矢

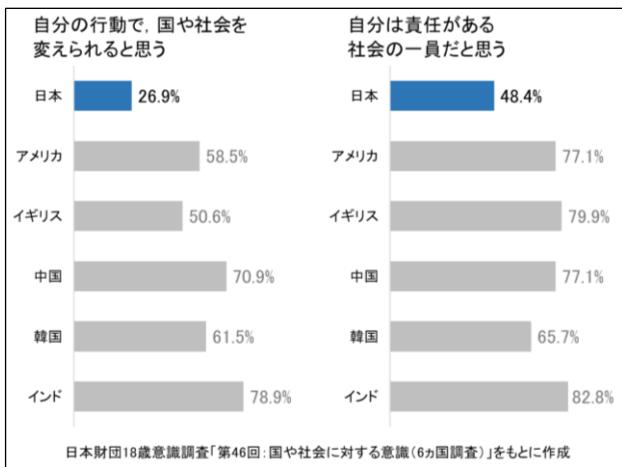
## 1 主題について

### (1) 主題設定の理由

#### ① 世界や国の教育の動向から

グローバル化の進展や人工知能技術の革新等によって、より予測困難で不確実、複雑で曖昧な時代、いわゆるVUCA時代が訪れている。OECD Education 2030プロジェクトでは、生徒が自分自身や他者、そして地球全体のウェルビーイングの実現に向けて自分をナビゲートするように学ぶことを求めており、どのような社会をつくり上げていくかという能動的な姿勢を生徒に育成する必要があることを強調している。こうした学びを実現するための学習枠組みとして「ラーニング・コンパス」が作成され、その中核的な概念としてエージェンシーが位置付けられた。エージェンシーとは、「変化を起こすために、自分で目標を設定し、振り返り、責任をもって行動する能力」と定義されている。

一方で、日本財団が2022年に日本、アメリカ、イギリス、中国、韓国、インドの6か国を対象に行った「18歳意識調査報告書」【資料1】では、「自分の行動で、国や社会を変えられると思う」という質問に対し、本国の18歳が「はい」と答えた割合は、26.9%、「自分は責任がある社会の一員だと思う」という質問に対し、「はい」と答えた割合は48.4%であり、諸外国と比べて低い結果となっている。本国の生徒たちのエージェンシーの弱さが、データからも示唆されているように見える。



【資料1】第46回18歳意識調査「はい」と答えた割合

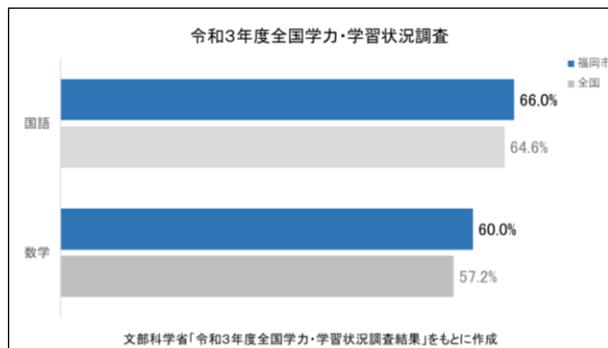
我が国は、学校教育法第三十条第二項にて、「生涯にわたり学習する基盤が養われるよう、基礎的な知識及び技能を習得させるとともに、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力、その他の能力をはぐくみ、主体的に学習に取り組む態度を養うことに、特に意を用いなければならない」と示している。また、平成28年12月に出された中央教育審議会答申「幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の学習指導要領等の改善及び必要な方策等について」において、「どのように社会や人生をよりよいものにしていくのかを考え、主体的に学び続けて自ら能力を引き出し、自分なりに試行錯誤したり、多様な他者と協働

したりして、新たな価値を生み出していくために必要な力を身に付け、子供たち一人一人が、予測できない変化に受け身で対処するのではなく、主体的に向き合って関わり合い、その過程を通して、自らの可能性を発揮し、よりよい社会と幸福な人生の創り手となっていけるようになることが重要である」と学習指導要領改定の背景が示された。求められている内容は前述のエージェンシーと重なる部分が多く、主体的に学び続けて自ら能力を引き出すことができる生徒の育成は喫緊の課題であると考えられる。

#### ② 福岡市の教育の実態から

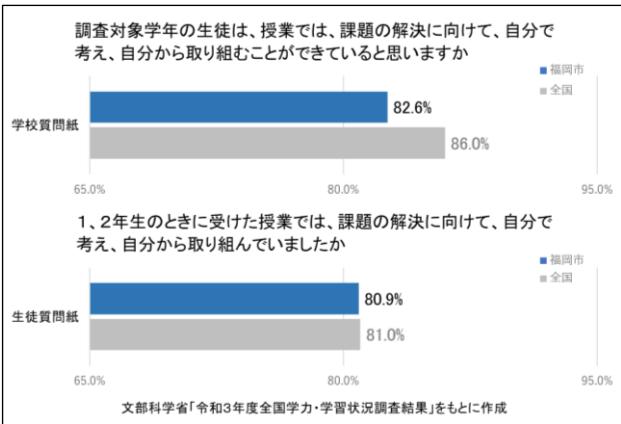
福岡市は、新たな時代に対応した取組みを進めていくために、「第2次福岡市教育振興基本計画」(2019)を策定した。この計画で本市は、めざす子ども像を「やさしさとたくましさをもち ともに未来を創り出す子ども」としている。これは、予測困難で不確実な時代を生き抜くために、多様な他者と協働しながら、自ら学び、成長し続け、よりよい社会や幸福な人生を切り拓いていく子どもと解釈する。

「令和3年度全国学力・学習状況調査」【資料2】における教科に関する調査結果では、国語の正答率が全国64.6%に対し本市66.0%、数学の正答率は全国57.2%に対し本市60.0%と、どちらも全国を上回っている。一方で、正答率が40%未満の生徒は、国語9.8%、数学21.7%存在しており、学力に課題のある生徒に対して、個別の状況に応じたきめ細かい対応が必要である。

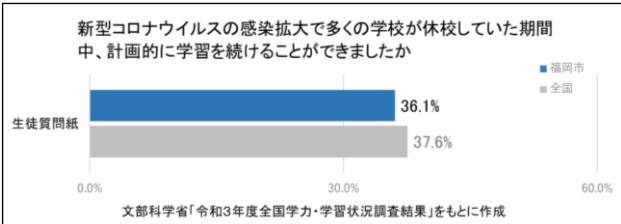


【資料2】全国学力・学習状況調査における国語・数学の結果

同調査における質問紙調査では、「授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか」に対する肯定的回答は、学校質問紙、生徒質問紙とともに本市の結果は全国平均を下回っており、「自分で考え、自分から取り組む」ことについて、より一層の授業改善が求められる【資料3】。また、「新型コロナウイルスの感染拡大で多くの学校が休校していた期間中、計画的に学習を続けることができましたか」に対する肯定的回答は36.1%と低く、全国平均を下回っている。これは、多くの生徒が、自分自身で学習を調整する力をもち合っていないことを示唆する【資料4】。



【資料3】主体的な学びに関する質問への肯定的割合



【資料4】計画的な学習に関する質問への肯定的割合

以上のことから、予測困難な時代の中で、学校や教師に依存することなく、これまで以上に主体的に学び続ける生徒を育成していくことが重要であると考え、本主題を設定した。

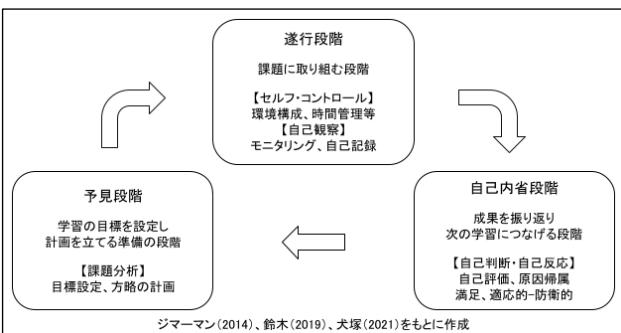
## (2) 主題及び副主題の意味

### ① 「主体的に学び続ける生徒」とは

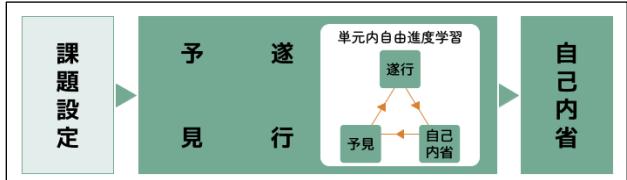
知識及び技能を獲得したり、思考力・判断力・表現力等を高めたりするために、学習状況を把握し、学習の進め方について試行錯誤するなど自らの学習を調整し続ける生徒である。

### ② 「単元内自由進度学習」とは

1単位時間にとどまらず、内容のまとめりや単元を通して、授業の進度や学習方法を学習者が自ら自由に決められる自己調整学習の一つの手法である。犬塚（2017）によると、自己調整学習(self-regulated learning)とは、学習者が自分の学習プロセスを能動的に調整していくことである。より具体的に、自己調整学習は、予見、遂行、自己内省の三段階で構成される循環的なプロセスとして【資料5】のように捉えられている。



本研究では、単元の学習過程を、予見、遂行、自己内省の三段階に、単元を通して取り組む学習課題を設定する課題設定の段階を加えた、四段階で構成する。また、単元の学習過程における遂行は、複数時間にまたがる学習段階であり、生徒はこの遂行の学習段階において、単元内自由進度学習を行っていく。この遂行（単元内自由進度学習）時の1単位時間の中でも生徒は、予見、遂行、自己内省の循環的なプロセスで学習活動を行っていくこととなる【資料6】。



【資料6】本研究における単元の学習過程

予見、遂行、自己内省のサイクルを適切に循環させる学習者が、優れた自己調整学習者である。目標を達成するために計画を立て、自らを制御しながら学習に取り組み、成果について振り返って次の目標に活用しようとする学習の在り方は、まさに主体的な学習といえる。

## ③ 「単元内自由進度学習における支援の工夫」とは

単元内自由進度学習において、生徒が自己調整をしながら学習を進めるための支援の工夫である。具体的には、生徒たちに学習への必然性をもたらせるための課題設定への支援、学習の見通しや各自の目標をもたらせるための予見への支援、進捗を管理しながら学習課題に取り組ませるための遂行への支援、学習の方法や内容を振り返らせるための自己内省への支援である。また、生徒が自己調整を行う場面をより多く引き出すために、学習の裁量権に着目した学習環境づくりを行う。具体的には、学習の方法、形態、順序の裁量権を教師から生徒へ委ねることである。生徒は、オンラインドリルを解いたり、学習動画を視聴したりといった学習の方法を選択することができる。また、個人で学習を進めるか、友達と協力するかなどの学習の形態や、どこから学習に取り組むかといった学習の順序についても生徒が選択できることとする【資料7】。

生徒の裁量	生徒が選択できるもの
学習方法の裁量	教科書を読む タブレットなどで調べる 学習動画を視聴する 先生や友達に質問する ノートやスライドにまとめる オンラインドリルやワークを解く 友達に教えたり、説明したりする 等
学習形態の裁量	個人で取り組む 友達と協力する 等
学習順序の裁量	学習に取り組む順序

【資料7】本研究における学習環境づくり（生徒の裁量）

## 2 研究の目標

中学校の社会科学習指導において、単元内自由進度学習を実施し、その支援の工夫を通して、主体的に学び続ける生徒を育てる学習指導の在り方を究明する。

### 3 研究の仮説

単元内自由進度学習を実施する中で、生徒に学習の方法、形態、順序の裁量を与えつつ、課題設定、予見、遂行、自己内省へ適切な支援を行えば、主体的に学び続ける生徒を育てることができるだろう。

### 4 研究の構想

#### (1) 内容

主体的に学び続ける生徒を育てる単元内自由進度学習を行うための教師の支援の在り方を究明する。具体的には、課題設定への支援、予見への支援、遂行への支援、自己内省への支援である。また、学習環境づくりにおいて、方法の裁量、形態の裁量、順序の裁量を教師から生徒へ与えることが、生徒の学習に好影響をもたらすか検証する。

#### (2) 教師の支援

##### ① 学習課題の工夫

単元の導入場面において、教師が複数の資料を提示し、生徒と対話をを行いながら、単元を貫く問ないと学習課題【P4 6

(1)(3)、P11 7 (1)(3)】を設定することである。「単元を貫く問い合わせ」とは、1 単位時間のみならず、単元の学習を通して追究する問い合わせである。同時に、本研究では、生徒たちが問い合わせを追究するために、単元を通して取り組む「学習課題」を設定した。これらは課題設定への支援となる。

##### ② 社会科 Can-Do リスト

生徒が学習課題に取り組むために、何がわかれればよいか、何ができるようになればよいか等の項目を教師がリスト化したものである【P5 資料 15、P11 資料 37、巻末資料 2・8 等】。予見や遂行への支援となる。

##### ③ 学習計画表

単元を貫く問い合わせと学習課題、社会科 Can-Do リストに照らし合わせて、いつまでに何を達成するかを生徒各自に計画させ、進歩に応じて修正を行わせるための表である【P6 資料 17、P12 資料 41、巻末資料 3・9 等】。予見や遂行への支援となる。

##### ④ 用語チェックリスト

教師が用意する単元のキーワードの一覧表である【P5 資料 14、P12 資料 38、巻末資料 4・10 等】。生徒に意味を理解、説明できるようになったかどうかを確認させる。遂行や遂行時の自己内省への支援となる。

##### ⑤ 振り返りシート

単元における学習前後の考え方の変化を比較して、加わった点や気付いた点について記入させるシートである【P7 資料 22、巻末資料 5・11 等】。自己内省への支援となる。また、1 単位時間の授業においては、授業冒頭に生徒各自の学習目標を立てさせるとともに、授業の最後に【資料 8】の項目について振り返りを行わせる【P7 資料 24、巻末資料 5・11 等】。これは、遂行時の予見や自己内省への支援となる。

振り返りの内容	項目
学習方法	今日したこと（学び方の振り返り）
学習目標	今日の目標の達成度
学習内容	今日の学び（学んだ内容の振り返り）
学習状況	進み具合
学習計画	ゴールに向けて

【資料 8】振り返りシートの質問項目

#### (3) 検証の方法

##### ① 検証内容

- 生徒が単元内自由進度学習を通して、自己調整を行えるようになったか。
- 生徒が単元内自由進度学習を通して、知識及び技能を獲得し、思考力・判断力・表現力等を高めることができたか。
- 単元内自由進度学習を通して、生徒がどのように感じたか。

##### ② 検証授業

- 1 年生 (社会科) 6 月～7 月
- 1 年生 (社会科) 12 月

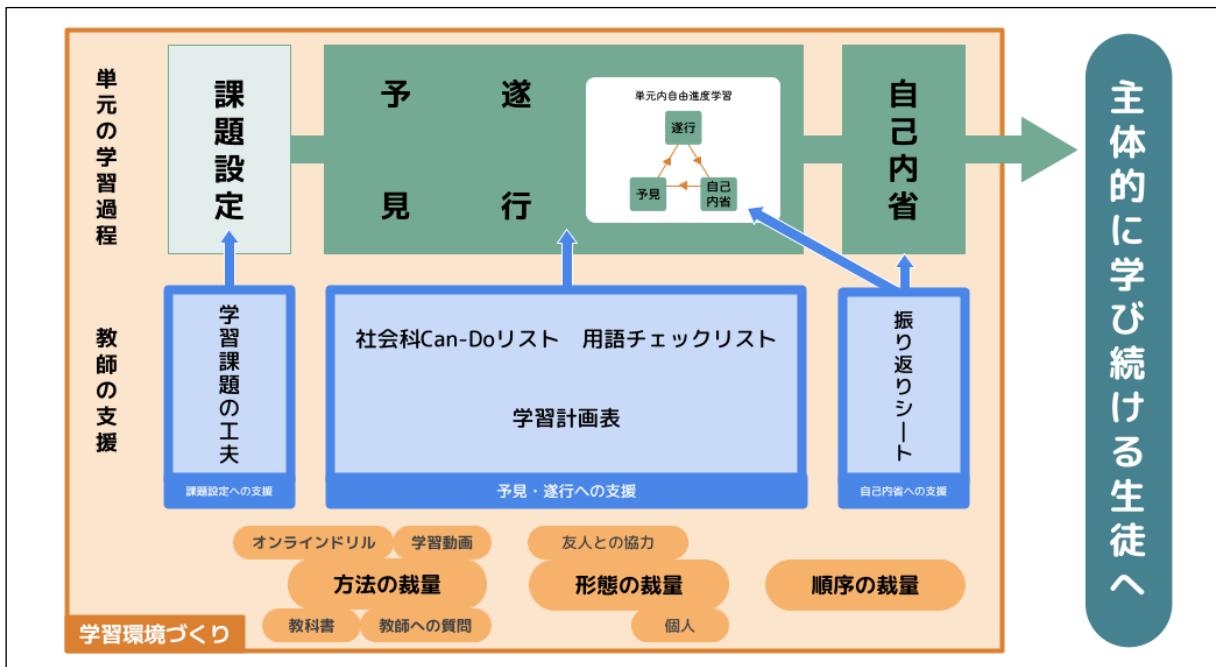
##### ③ 検証方法

学習の様相観察、課題作品分析、振り返りシート分析、アンケート（自己評価）分析での検証を行う。アンケートについては、学習状況を把握し、学習の進め方について試行錯誤する等、自らの学習を調整しているかについて【資料 9】の項目を実証前後で実施する。

自己調整する姿	項目
既習事項の想起	授業のはじめに「前の時間でやったことは何だったかな? と考えている。
学習内容の確認	授業のはじめに「今日はこのあたりを学ぶのかな? これをやろう」などと考えている。
目標設定	授業のはじめに「この目標は～～すれば達成できそうだ」と考えて目標設定をしている。
点検	授業の途中で「これはわかる（できる）、これはわからない（できない）」などと考えている。
活動の調整	授業の途中で「この次はどうやろうかな（どんな方法でしようかな）」と考えている。
改善策の創出	授業の途中で「これは良い方法を思いついた（知った）」と感じることがある。
欠陥の発見	授業の途中で「あれ、何かおかしい」と考えることがある。
欠陥の補填（再学習・試行錯誤）	授業の途中で「もう一度やり直してみよう、別の方法でやってみよう」と再学習している。
欠陥の補填（他者補充）	授業の途中でわからないところを教師や友達に聞いている。
疑念の解消	授業の途中で迷った時に、友達のプリントや課題を見て「私のはこれで良いんだな」と安心したことがある。
達成の確認	授業の終わりに「めあてや目標に書いたことは達成できたかな?」と振り返っている。
学習の確認	授業の終わりに「これは新しい学び方だな。あのやり方が良かったな」と振り返っている。
計画の修正	授業の終わりに「次はどうしようかな?」と考えている。
補充や補填	休み時間や放課後にわからなかったところを調べたり、課題の資料をまとめたりしている。
拡散と追究	休み時間や放課後に授業で興味をもったこと（気になること）を調べている。

【資料 9】自己調整についてのアンケート項目（5 件法）

## 5 研究構想図



## 6 研究の実際 実践 1

### 第1学年 単元「アジア州」

#### (1) 実践 1 のねらい

##### ① 研究のねらい

アジア州について生徒が主体的に学習に取り組むために、単元内自由進度学習における教師の支援の有効性を明らかにする。

##### ② 単元の目標

- アジア州に暮らす人々の生活を基に、地域的特色を大観し理解する。
- アジア州において、地域で見られる地球的課題の要因や影響を、州という地域の広がりや地域内の結び付きなどに着目して、それらの地域的特色と関連付けて多面的・多角的に考察し、表現する。
- アジア州について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとする態度を養う。

##### ③ 単元を貫く問い合わせと学習課題

問い合わせ	アジア州における急速な経済成長は、地域にどのような影響を与えていたるだろうか。
学習課題	上記の問い合わせについて調べ、まとめよう。

##### ④ 単元計画 (全8時)

次	配時	学習活動
一	1	アジア州の国々の経済成長の様子をつかみ、学習課題を確認し、単元の見通しをもつ。
二	6	Can-Do リストや学習計画表をもとに学習を進めながら、学習課題のレポートを作成する。
三	1	学習課題を完成させ、単元を通しての学習を振り返る。

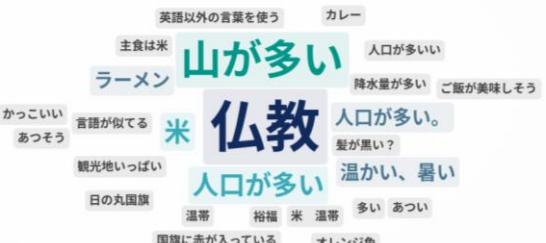
#### (2) 実際と考察

##### ① 実際

###### ア 課題設定

第1時の授業前半では、まず、生徒がもっているアジア州に対するイメージや知識を意見集約ツールに入力させ、学級全体で共有した【資料 10・11】。

アジア州に対してもっているイメージを教えて下さい。



【資料 10】アジア州に対するイメージ（生徒の回答）

知っているアジア州の国を記入してください。

日本、タイ、インド

日本、中国、モンゴル、韓国、インド、タイ、インドネシア

インド、ロシア、中国、トルコ、モンゴル

日本

日本 中国 韓国 北朝鮮 タイ ベトナム マレーシア

日本だけ知ってる

日本

【資料 11】知っているアジア州の国（生徒の回答）

次に、近年のアジア州の各都市の様子を捉えさせるために、アジア州各地域の発展の様子がわかる Google スライド（以後スライド）を見せ、【資料 12】のように意見や考えを表出させた。

街が発展している	都会	地球温暖化の原因
建物が特徴的	人口が多い	すごすぎて少し日本がくすんで見えた
人が多い	文化が発達している	綺麗だな-----
建物が多い	すごい	人口多そう
めっちゃ都会	都会	きれい
宗教が多い	いろんな文化がある	ビルとかきれい

【資料 12】アジア州にどんなイメージをもったか？（生徒の回答）

こうした活動の中で、生徒から「経済成長はしているが、環境破壊などの問題も起こっている」といった発言があり、「アジア州における急速な経済成長は、地域にどのような影響を与えているだろうか」という単元を貫く問い合わせを設定した。そして、この問い合わせについて調べ、まとめることを「学習課題」とした。その際、Google フォーム（以後フォーム）で現時点での自分の考えを記述させ、学習を終えた段階での自分の考え方と比較するために、Google スプレッドシート（以後スプレッドシート）【資料 13】へと反映させた。

#### イ 予見・遂行（単元内自由進度学習）

第1時の授業後半では、まず、単元内自由進度学習の進め方の説明を行った。その際、教科書やワーク、オンラインドリル等、何を使って学習するか、個人で学ぶか友達と協力するか、どこから学ぶか等については、生徒各自で選択することを確認した。次に、単元の学習の見通しをもたせるために、社会科 Can-Do リスト【資料 14】、用語チェックリスト【資料 15】、学習シート【資料 16】を提示した。なお、社会科 Can-Do リストには、オンラインドリルや学習動画コンテンツのリンクが挿入されており、必要に応じて活用するよう説明した。

✓キーワード		意味を説明できた語句にチェックを入れよう
<input type="checkbox"/> 季節風（モンスーン）	p51	<input type="checkbox"/> 工業団地
<input type="checkbox"/> 雨季		<input type="checkbox"/> 東南アジア諸国連合（ASEAN）
<input type="checkbox"/> 乾季		<input type="checkbox"/> スラム
<input type="checkbox"/> かんがい		<input type="checkbox"/> 情報通信技術（ICT）関連産業
<input type="checkbox"/> 稲作	p52	<input type="checkbox"/> バイオライン
<input type="checkbox"/> 畑作		<input type="checkbox"/> 石油輸出国気候（OPEC）
<input type="checkbox"/> 道牧		<input type="checkbox"/> 難民
<input type="checkbox"/> 仏教	p53	
<input type="checkbox"/> イスラム教		
<input type="checkbox"/> ヒンドゥー教		
<input type="checkbox"/> キリスト教		
<input type="checkbox"/> 一人っ子	p54	
<input type="checkbox"/> 経済特区		
<input type="checkbox"/> 世界の工場		
<input type="checkbox"/> 経済格差	p55	
<input type="checkbox"/> 大気汚染		
<input type="checkbox"/> ハングル	p56	
<input type="checkbox"/> 儒教		
<input type="checkbox"/> 一極集中	p57	
<input type="checkbox"/> 華人		
<input type="checkbox"/> 二耕作	p58	
<input type="checkbox"/> ブランチーション		

【資料 15】用語チェックリスト

The form has three sections:

- 【見通し】最初の授業の段階での自分の考え方
- 【まとめ】学習を終えた段階での自分の考え方
- 【振り返り】「見通し」の段階の自分の考え方と「まとめ」の自分の考え方を比較して、加わった点や気づいた点を記入しよう！

【資料 13】フォームの回答が反映されるシート（太枠内）

単元を貫く問い合わせ：アジア州における急速な経済成長は、地域にどのような影響を与えているだろうか。							
社会科CanDoリスト～できるようになったことに色をつけよう～							
	1 6/27(月)	2 6/29(水)	3 6/30(木)	4 7/5(火)	5 7/6(水)	6 7/7(木)	7 7/11(月)
雨温図・気候帯・グラフ	1 p50-51	2 p50-51	3 p50-51	4 p50-51	5 p52-53	6 p52-53	7 p52-53
ミライシード							
教科書							
eboard							
NHK for school							
アシアの地域							
アシアの地形と気候							
アシアの人口							
中国の産業							
中国の人口							
東南アジア							
南アジア							
西アジア・中央アジア							
やってみた	○	○	○	○	○	○	○
わかる	○	○	○	○	○	○	○
説明できる	○	○	○	○	○	○	○

【資料 14】社会科 Can-Do リスト

アジア州の経済成長の背景とその影響についてまとめよう		
	経済成長の背景	経済成長によって生じた影響【○：良かった点、△：課題点】
中国		
韓国		
東南アジア		
南アジア		
中央アジア 西アジア		

「単元を貫く問い合わせ」への考え方をやって、説明しよう！	
作業1：中国・韓国・東南アジア・南アジアでの急速な経済成長の背景には、どのような共通点があるのだろうか。	スラッシュマでは全員が達成しよう！
作業2：アフリカ州における急速な経済成長は、地域全体にどのような影響を与えているのだろうか。	
地理的な要因、考え方を書かせよう！（教科書参考）	
「ほかの場所への影響」「地域全体への影響」	〔alt〕+〔Enter〕で改行できるよ！

【発展】持続可能な社会に向けて考えよう！	
作業1：5つの国や地域から1つを選び、その国で生じている課題の原因を考えよう。	
国・地域	経済成長によって生じた影響（ステップ1で入力）
左のセルを選択して「中国」「韓国」「東南アジア」「南アジア」「中央アジア・西アジア」から一つ選ぼう。	
▲課題の原因	
作業2：上の課題に対して、どのような取り組みを行うと、よりよい社会になるか考えよう。	
よりよい社会を目指して	

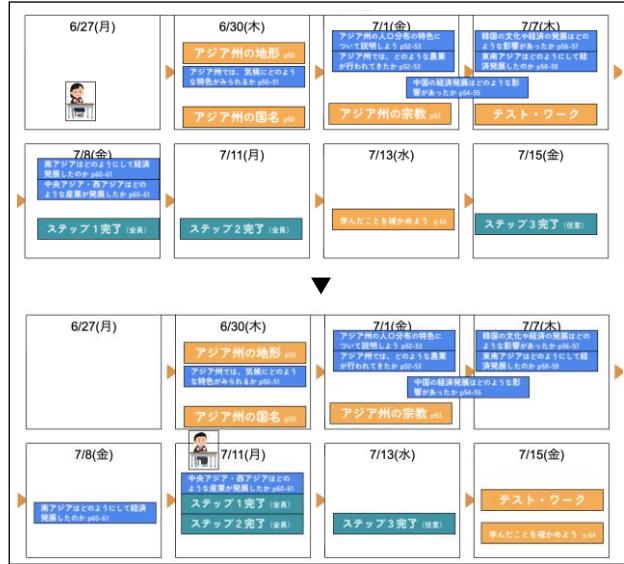
#### 【資料 16】学習シート（上から順にステップ1、2、3）

第1時の最後に、学習の見通しをより具体化させるために、学習計画を立てさせた【資料17】。その際、社会科Can-Doリストの項目をスプレッドシート上にプレートとして配置し、生徒が簡便に操作できるように配慮した。また、第2時から第8時までの毎時間の授業の冒頭や終末に、進捗状況に応じた修正を行わせた。その際、机間指導を行いながら、手が止まっている生徒や支援を求める生徒に助言を行った。

単元計画を立てて、見通しをもって学習に取り組もう！				
アジア州の国名	アジア州の宗教	アジア州の地形	テスト・ワーク	学んだことを確かめよう
6/27(月)	6/29(水)	6/30(木)	7/5(火)	
7/6(水)	7/7(木)	7/11(月)	7/13(水)	

## 【資料 17】学習計画表

【資料18】のように生徒は、各授業の冒頭に学習計画表を参照して見通しを立てたり、進捗状況に応じて学習計画表を修正したりしていた。



### 【資料 18】学習計画の修正の様子

第2時から第8時の授業は、自由進度学習を行わせた。生徒は、社会科 Can-Do リストを参考にしながら、教科書や学習動画、オンラインドリルなどの学習方法を選ぶとともに、【資料 10】のように個人で進むたり、友達と協力したり等

【資料 19】のように個人で進めたり、友達と協力したり等、学習の形態を選択しながら、学習に取り組んでいた。また、社会科 Can-Do リストを塗りつぶしたり、用語チェックリストを確認したりすることで、学習の進捗管理を行わせた。その際、教科書の順番で進める生徒がいる一方で、【資料 20・21】のように順序関係なく取り組みやすいところから学習を進めていく生徒の姿も見られた。



#### 【資料 19】学習に取り組む生徒の様子

#### 【資料 20】社会科 Can-Do リストでの進捗管理の様子

✓ キーワード		意味を説明できた語句にチェックを入れよう	
<input type="checkbox"/> 季節風（モンスーン）	p51	<input type="checkbox"/> 一人っ子	<input type="checkbox"/> 工業団地
<input type="checkbox"/> 雨季		<input type="checkbox"/> 経済特区	<input type="checkbox"/> 東南アジア諸国連合（ASEAN）
<input type="checkbox"/> 乾季		<input checked="" type="checkbox"/> 世界の工場	<input type="checkbox"/> スラム
<input checked="" type="checkbox"/> かんがい	p52	<input type="checkbox"/> 経済格差	<input type="checkbox"/> 情報通信技術（ICT）関連産業
<input type="checkbox"/> 農作		<input checked="" type="checkbox"/> 大気汚染	<input type="checkbox"/> バイオライン
<input type="checkbox"/> 畑作		<input type="checkbox"/> ハングル	<input type="checkbox"/> 石油輸出国協会（OPEC）
<input type="checkbox"/> 遊牧		<input type="checkbox"/> 儒教	<input checked="" type="checkbox"/> 難民
<input type="checkbox"/> 仏教	p53	<input checked="" type="checkbox"/> 一極集中	p57
<input type="checkbox"/> イスラム教		<input type="checkbox"/> 華人	p58
<input type="checkbox"/> ヒンドゥー教		<input checked="" type="checkbox"/> 二期作	
<input type="checkbox"/> キリスト教		<input type="checkbox"/> ブランチーション	

### 【資料 21】用語チェックリストでの進捗管理の様子

第2時から第8時までの毎時間の授業の冒頭に、スプレッドシートを活用した振り返りシート【資料 22】を用いて、各時間の授業の目標を立てさせると共に、終末では、遂行時の自己内省への支援として、自身の学習活動の振り返りをさせた。その際、学んだ内容や進捗状況と共に、学び方の振り返りを行わせた。また、一人で記入することが難しい生徒が参考にできるように、振り返りシートの中身を生徒間で共有させたり、モデルを示したりした。

社会科振り返りシート						
OK!						
単元を貰く問い合わせ：アジア州における急速な経済成長は、地域にどのような影響を与えるだろうか。						
学習日	今日の目標 (ぎりぎり達成できそうな目標)	今したこと (学び方の振り返り)	左記以外で行ったこと	今日の目標の達成度	今日の学び (学んだ内容の振り返り)	進み具合
6/29(月)						
6/30(火)						
7/1(水)						

【資料 22】振り返りシート

生徒は、自分で立てた「今日の目標」をもとに振り返りを行い、それをもとに次回の学習に向けた見通しを立てた。また、【資料 23】のように前回の振り返りの内容を参考に学習方法を見直したり、使い分けたりする様子も見られた。一方で、振り返りの記入が時間内に終わらない生徒も数名いた。

### ウ 自己内省

また、単元末の第8時には、【資料 24】のシートに単元を貫く問い合わせに対する自分の考えを改めて記述させ、最初の授業の段階での考え方と比較させた【資料 25】。その際、自分の考え方の変化に注目させ、単元の学習全体を振り返らせた。

【見通し】最初の授業の段階での自分の考え方

最初の授業で先生から配信されるGoogleフォームで回答してください。

【まとめ】学習を終えた段階での自分の考え方

学習を進めながら考えをまとめていこう！

【振り返り】「見通し」の段階での自分の考え方と「まとめ」の自分の考え方を比較して、変わった点や気づいた点を記入しよう！

【資料 24】単元の学習のまとめと振り返り（太枠内）



【資料 25】単元の学習のまとめと振り返りを入力する生徒の様子

学習日	今日の目標 (ぎりぎり達成できそうな目標)	今日したこと (学び方の振り返り)			左記以外で行ったこと	今日の目標の達成度	今日の学び (学んだ内容の振り返り)	進み具合	ゴールに向けて	
6/30(木)	先生の話をしっかりと聞きながらできるだけ自分の意見を伝えよう。	<input checked="" type="checkbox"/> 調べる	<input type="checkbox"/> 動画	<input type="checkbox"/> まとめ			3	動画を見ながら、アジア州の国名をノートにまとめることができました。	1	ゴールに向けてもっと時間を有効的に使いながら学習していきたいです。
7/1(金)	アジア州の国名と地形を正確に覚えて、時間があれば気候についても知ろう	<input checked="" type="checkbox"/> 教科書	<input checked="" type="checkbox"/> 調べる	<input type="checkbox"/> 動画	<input type="checkbox"/> まとめ		3	世界の地形や気候について動画を視聴しながらノートにしっかりまとめることができました。	1	もう少し計画的にアジア州の経済成長の背景とその影響についてまとめていきたいです。
7/7(木)	ステップ1を丁寧に最後まで友達とも説明し合いながら今日中に終わらせよう	<input checked="" type="checkbox"/> 教科書	<input checked="" type="checkbox"/> 調べる	<input type="checkbox"/> 質問	<input type="checkbox"/> まとめ		3	中国では衣服や日用品・家電製品などが世界で広く使われているなどといっている。しかし、経済が発展するところ石油や石油などの化石燃料を大量に消費してしまい、大気汚染などの環境問題が深刻化してしまっていることを学びました。	2	もっと友達と説明をしながら進めています。また、教科書だけでなくワークや今までの経験も生かして進めていきたいです。
7/8(金)	ステップ1を進めるときは、行動を変えてわかりやすくしたり、わからないことや困ったことがあつたら友達同士で聞きあおう。また、友達の意見を参考にしながら工夫して進めていこう。	<input checked="" type="checkbox"/> 教科書		<input type="checkbox"/> 質問	<input type="checkbox"/> まとめ		3	中央アジア・西アジアでは原油の輸出で得られた利益を石油製品に利用したり、交通・通信機器の整備などにも使われている。しかし、天然ガスや、レアメタルなどの鉱石も豊富な地域の資源を巡って争いが起こりつつあります。そして、シリアのように内戦による難民が発生していることを学びました。	3	アジア州の経済成長の背景とその影響についてもっと詳しくわかりやすく丁寧にまとめていきたいです。
7/11(月)	授業を進めるペースが遅れてきているのでもっと計画的に友達と交流をしながら友だちの意見と比較してみよう。	<input checked="" type="checkbox"/> 教科書		<input type="checkbox"/> 質問	<input type="checkbox"/> まとめ		3	今回はステップ1の経済成長の背景を主にスライドでまとめました。経済成長の背景で何を主に経済成長を進めているのかや、何を目的として進めているのかを学ぶことができました。次はステップ2なのでもっと計画的にして、ステップ1を何度も見ることで説明できるかもしれません。	3	ゴールに向けてもっと友達との意見を比較したり説明し合うことができるようになります。
7/13(水)	ステップ2を進めるときはステップ1のときよりも交流を深めながら正確な答えを書き出そう。	<input checked="" type="checkbox"/> 教科書		<input type="checkbox"/> 質問	<input type="checkbox"/> まとめ		3	今日は、ステップ2を終わらせることができました。ステップ2では急速な経済成長の背景にはどのような共通点があるのかを考えるところであからくなってしまっていたときに周りの人協力してくれおかげで最後までしっかり書き終わらることができました。また、急速な経済成長	4	もっと交流を深めて次からは自分が友達に教えるようにしたり、説明をしっかりできるように頑張ろうと思います。
7/15(金)	今日はアジア州最後の学習なので最後までしっかりとステップ1とステップ2を仕上げていき、語句も説明できるようにしよう。	<input checked="" type="checkbox"/> 教科書		<input type="checkbox"/> 質問	<input type="checkbox"/> まとめ		3	今日は主にステップ3を進めてきました。ステップ3では中東の課題をもう一度振り返り、課題の項目と課題に対してどのような取り組みを行っているかということを学ぶことができました。また、中東では都市を中心に進められていて、都市ではないところとの経済格差が生じてしま	5	今回最後のアジア州の学習だったのでしっかりとステップ3まで書き終えることができました。また、最初の頃はここでアジア州のことを詳しく知ることができると思わなかったのでこれからアジア州のことをもっと知っていこうと思いました。

【資料 23】生徒が記入した振り返りシート

## ② 考察

実践1後に教師の支援と生徒の学習実態に関するアンケートを実施した。その結果の一覧が【資料26】である。実践1の実際と【資料26】を照らし合わせた考察を以下に述べる。

教師の支援と生徒の学習実態に関するアンケート n=61	
1. 学習をがんばれたか（4件法／肯定的回答）	90.2%
2. 課題の仕上がりへの満足度（5件法）	平均 3.7
3. 自由進度学習を行う上で～～は役に立ちましたか。（4件法／肯定的回答）	
3-1. 單元を貫く問い合わせ課題	85.5%
3-2. 社会科 Can-Do リスト	70.5%
3-3. 用語チェックリスト	73.8%
3-4. 学習計画表	88.5%
3-5. 振り返りシート（遂行時）	95.1%

【資料26】実践後アンケート

### ア 課題設定への支援

第1時の導入で生徒が回答した「アジア州に対するイメージ」【資料10】では、宗教や人口、地形や気候についての記述が多く、経済成長について触れているものはほとんど無かった。しかし、教師が複数の資料をスライドで提示した後の生徒の回答【資料12】からは、アジア州の経済成長に気付いた様子がうかがえる。また、その後の教師と生徒の対話より、アジア州の急速な経済成長が地域に様々な影響を与えているのではないかとの問い合わせをもつて至り、円滑に単元を貫く課題の設定を行うことができた。このことから、課題設定への支援を有効に行うことができたと考える。

「単元を貫く問い合わせ課題」についてのアンケート結果は、肯定的回答が 85.5%であり、各回答の理由として以下のような記述が見られた。

- 時々、自分がどんな学習をしているのかよくわからなくなるときがあるので、単元を貫く問い合わせ課題があることで、今、こういう学習をしているんだと意識することができたから。
- これを見ながら、その日のめあてを決めたりすることができた。
- どんなことを調べて学習すればよいかが分かりやすかった。
- 最終的に答えに近づいているか、目的からそれていなかがわかるので、役に立った。
- 道標みたいになってくれたから。
- 学習する中で、あまり見なかった。
- あまり意識しなかった。

【資料27】回答の理由（○が肯定的回答、●が否定的回答の理由）

これらの数値と記述から、「単元を貫く問い合わせ課題」を意識しながら、単元の学習に取り組む生徒の様子がうかがえる。また、「課題の仕上がりへの満足度（5件法）」との相関係数は、0.56 (p<.001) で正の相関があった。このことから、「単元を貫く問い合わせ課題」を設定することで、生徒が見通しをもって学習に取り組むことができ、そのことが課題の仕上がりへの満足度につながったと考えられる。

一方で、生徒が作成したレポートは【資料28】のように事実の羅列になっているものが多く、知識及び技能を活用しながら、生徒の思考力・判断力・表現力等を表出させるものとしては不十分な学習課題であったと考えられる。

### 「単元を貫く問い合わせ」への考え方を作って、説明しよう！

作業1：中国・韓国・東南アジア・南アジアでの急速な経済成長の背景には、どのような共通点があるのだろうか。

さまざまな援助を受けたり、地域で盛んに行われているものを輸出するなど、工業に力を入れていた。そして、貿易で出た利益を発展に生かしている。農村の人々が都市に移動している人が増えた。外国向土が繋がっている。

作業2：アジア州における急速な経済成長は、地域全体にどのような影響を与えているのだろうか。

地理的な見方・考え方を働かせよう！（教科書・参考図？）

貿易が活発になったり、工業や商業が発達し、この技術や製品が人々の生活に必要なものとなった。貿易や工業製品の輸出で多くの利益が出て、急速に発展した一方で、都市部と農村部の人で社会格差が生まれた。また、化石燃料や車の排ガスにより環境問題が深刻化した。

「ほかの場所への影響」

「地域全体の傾向」

【資料28】生徒が作成したレポート

### イ 予見・遂行（単元内自由進度学習）への支援

「社会科 Can-Do リスト」については、肯定的回答が 70.5% であり、各回答の理由として以下の記述が見られた。

- どこまで学習できていって、どこができるでないかが整理されていて、復習などがしやすかった。
- 塗ったときの達成感があった。
- 自分が学習しているところの動画を簡単にチェックすることができるで、学習がどんどん進められた。
- 教科書のどこを見ればよいか分かったので、迷わなかつた。
- 今日進めるべきことの優先順位を決めることができた。
- あまり見ることができなかつた。
- 操作が難しかつた。

### 【資料29】回答の理由（○が肯定的回答、●が否定的回答の理由）

これらの数値と記述から、「社会科 Can-Do リスト」をチェックすることで、学習の進捗を管理したり、学習の順序を組み替えたりしながら単元の学習に取り組む生徒が多かつたことがわかる。また、「学習をがんばれたか（4件法）」との相関係数は、0.23 (p<.09) で正の相関が見られた。

一方で、否定的回答が 29.5%と他の支援と比べて多かつた。生徒の記述にも見られるように、学習の遂行における粘り強い取組みや達成感へ一定の効果があつたが、生徒の操作スキルによっては、社会科 Can-Do リストのチェック作業に対する負担感が大きく、否定的回答の多さにつながつたと推察する。これについては、操作を繰り返す中で、解消されていく課題であると考える。

「用語チェックリスト」については、肯定的回答が 73.8% であり、各回答の理由として以下の記述が見られた。

- どの単語を覚えていて、どの単語を覚えていないかわかつた。
- 分からぬ単語をみつけ調べたり、復習したりすることができた。
- これを使って友達と説明し合ったり、問題を出し合ったりできた。
- まとめに集中していたので、あまり使わなかつた。

### 【資料30】回答の理由（○が肯定的回答、●が否定的回答の理由）

これらの数値と記述から、「用語チェックリスト」を使って、自分自身の理解度を確認したり、学習の進捗を管理したりしながら単元の学習に取り組む生徒の様子がうかがえる。

一方で、「使わなかつた」という生徒もあり、生徒が必要に応じて活用している状況がうかがえた。

「学習計画表」については、肯定的回答が 88.5% であり、各回答の理由として以下の記述が見られた。

- 今日何をするか自分で決められるから自分のペースで学習することができる。
- 今自分がどのくらい急いでやらなくてはいけないのかわかった。自分がどのくらい計画とずれているかわかる。
- 先のことを計画するのが苦手だったので、難しいところもあつたけど、自分がどこまで進めることができたかを確認することができて、計画的に進められた。
- あと何日でここまで終わらせれば、この日はこんなことができるから家でここまでしよう、と自分で宿題が出せる。
- 計画通りに学習を進められなかった。
- 最後の方になるとあまり見なくなっていた。

**【資料 31】回答の理由（○が肯定的回答、●が否定的回答の理由）**

これらの数値と記述から、「学習計画表」を使って、自分自身の学習の進捗を管理したり、見通しをもったりしながら単元の学習に取り組む生徒の様子がうかがえる。また、「学習をがんばれたか（4件法）」との相関係数は、0.32（p<.05）、「課題の仕上がりへの満足度（5件法）」との相関係数は、0.21（p<.001）で共に正の相関があった。このことから、「学習計画表」を設定し、随時修正することで生徒が自らの学習に達成感や満足感を得ることができたと考えられる。

一方で、否定的な回答をしている生徒もあり、学習計画を設定する際に、生徒同士でお互いの単元計画を見せ合う場面をつくったり、個別に教師が支援したりする必要があると考えられる。

「振り返りシート（遂行時）」については、肯定的回答が95.1%であり、各回答の理由として以下のような記述が見られた。

- 自分がその日何を学んだか、どう感じたかをあとから見ることができる。
- 昨日の振り返りを見て、今日はこうしようと目標を立てることができます。
- 自分なりの振り返りができて、自分なりの目標が達成できて、やりがいがあった。
- 前回の自分が何を思っていたかがわかるし、その振り返りを元に次のめあてを立てることができた。
- 自分の学習方法を見直して、やっていない方法に取り組むことで、勉強のコツみたいものを得られそう。
- 今日したことは明確にわかるけど、どう記入するかがわからない時があって、記入するのに時間がかかってしまった。

**【資料 32】回答の理由（○が肯定的回答、●が否定的回答の理由）**

これらの数値と記述から、「振り返りシート（遂行時）」を使って、学習内容や自分の考え、学習の方法を振り返ったり、次の時間の学習の見通しをもったりしながら単元の学習に取り組む生徒の様子がうかがえる。また、「学習をがんばれたか（4件法）」との相関係数は、0.54（p<.001）、「課題の仕上がりへの満足度（5件法）」との相関係数は、0.32（p<.001）で共に正の相関があった。このことから、「振り返りシート」を活用することで、生徒が自己の学び方や学んだ内容を見返しながら、各自の目標をもって学習に取り組むことができ、そのことが粘り強く学習に取り組んだり、試行錯誤したりすることにつながったと考えられる。

一方で、振り返りシートの記入の仕方がわからなかつた生徒やどのように振り返ればよいのかわからなかつた生徒がいたため、教師の支援の在り方にさらなる工夫が必要であると考える。

**ウ 自己内省への支援**

**【資料 33】**は、生徒による単元の学習の振り返りである。

「振り返りシート（単元末）」生徒の記述の一部

- ・具体的な生活の変化や貿易や工業などが盛んになったり、外国同士の繋がりが深まつたりしていた。いいことばかりではなく、経済成長が進んだことにより、各地で経済格差が生まれたり、環境への問題が深刻化したりしていたことが見通しから加わっていた。他の州でも違いがそれぞれあると思う。
- ・環境が悪くなるのはあっていましたけど思っていたより大気汚染やスマogなど環境が悪くなっていると思いました。良い点は経済で他の国との交流が増えたことや交通が前より便利になったことだと思います。メリットもあったけどデメリットのほうが多いかったです。語句も友達と説明をできたので少し覚えることができました。家に帰って家庭学習で進めたり教科書に線を引いたりして工夫していましたけど、動画やワークなど全然ていなかつたので、次はもっとそれに取り組んで理解を深められるようにしたいです。
- ・見通しとまとめを見比べると、まとめの方が圧倒的に考えがまとまっていてこの学習で、考える力、まとめる力、詳しく書く力と様々な力が身についてることがわかつて良かったです。これからも備わった力を継続して授業に取り組みたいです。

**【資料 33】 振り返りシート（単元末）**

単元の学習を通じた自分の考えの変容に気付くと共に、「他の州でも違いがそれぞれあると思う」という記述から、次の単元への見通しをもとうとしていることが読み取れる。

また、自分自身の学び方や身に付いた力に注目した振り返りも見られ、よりよく学ぶために学び方を改善しようとする生徒の様子がうかがえた。しかし、これは若干名の生徒に留まっており、多くの生徒は学んだ内容の振り返りに終始していたため、自己内省への支援が不十分であったと考える。

**(3) 実践 1 のまとめ**

**① 生徒の感想から**

実践 1 の終了後に改めて「自由進度学習を終えての感想」を記入させた。【資料 34】は生徒が記入した感想である。

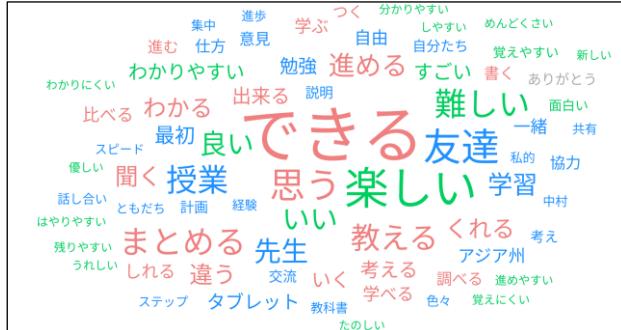
「自由進度学習を終えての感想」生徒の記述の一部

- ・自分で計画を立てて学習課題に取り組むのは少し大変だったけど、自分のスピードに合わせてできるし、わからないところは友達や先生に聞いたり、調べたりすることができたので良かったです。
- ・まとめるのは得意だったけど、自分で考えるのが難しかったです。私は自分で物事を決めたり、考えて行動したりすることに抵抗がありました。失敗したときや納得できないことがあったとき責任がついてきてすごく怖いからです。でも、今回の授業では、先生が話しかけてくれたり、たくさんのタブレットで使えるツールがあつたりして、どんどん学習を進めることができました。最後の方は、友達に説明できるようになって達成感があつて嬉しかったです。
- ・最初、「自由にしていいよ」と言われて初めは、「どうしたらいいんだろ」って思ってたけど、何回かすることすごく楽しいなと思いました。理由は、自分で誰と勉強するか、何を使つ

て勉強するかを選べたからです。また、タブレットにたくさんの資料や学習シートがあったので、迷わず勉強できるようになりました。

### 【資料 34】自由進度学習を終えての感想

また、「自由進度学習を終えての感想」をA I テキストマイニングを使って分析したのが【資料35】である。



【資料35】「自由進度學習を終えての感想」のワードクラウド

全単語の中で「できる」が最も出現頻度が高く、それに次いで「楽しい」「友達」といった単語が多く出現している。これらの単語が使用された感想が多いことから、友達と協力しながら学習を進めていくことへの手応えや楽しさを感じている生徒が多いと推察できる。また、動詞では「まとめる」「教える」「聞く」といった学習方法に関する単語が出現している。これは、学習方法を生徒自身に選択、決定させたことによるものであると考えられる。

これらの生徒の記述分析から、実践1における単元内自由進度学習を通して、学習の裁量権を委ねられた生徒たちは、教師の支援を受けながら、自己調整をして学習を進めることができたと考える。

## ② 成果

- 単元内自由進度学習において、社会科 Can-Do リストや用語チェックリストを活用させることは、生徒が学習の進捗を管理したり、学習の順序を組み替えたりする姿を引き出したという点で、主体的に学ぶ生徒の育成に有効であった。
  - 単元内自由進度学習において、学習の計画を設定、修正させたり、学習の内容や方法を振り返らせたりすることは、生徒が見通しをもって粘り強く学習に取り組んだり、試行錯誤する姿を引き出したという点で、主体的に学ぶ生徒の育成に有効であった。

### ③ 課題

- 生徒が知識及び技能を活用しながら、さらに思考力・判断力・表現力等を表出できる学習課題の開発が必要である。同時に、生徒がより思考・判断・表現しやすくなるよう、どのように思考・判断・表現すればよいかを示すといった教師の支援が必要となる。
  - 振り返りシートをより効果的に活用させるための支援の工夫が必要である。
  - 単元末の自己内省を充実させるために、単元の学習内容や自己の成長に関する振り返りのみならず、単元の学習の方法等について振り返る機会を設ける必要がある。

## 7 研究の実際 実践2

### 第1学年 単元「日本列島の誕生と大陸との交流」

#### (1) 実践2のねらい

##### ① 研究のねらい

古墳時代までの日本について生徒が主体的に学習に取り組むために、単元内自由進度学習における教師の支援の有効性を明らかにする。

##### ② 単元の目標

- 日本列島における農耕の広まりと生活の変化や当時の人々の信仰と東アジアとの関わりなどを基に、東アジアの文明の影響を受けながら我が国で国家が形成されていったことを理解する。
- 農耕の広まりや生産技術の発展、東アジアとの接触や交流と政治や文化の変化などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、日本列島における国家形成について古代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現する。
- 古墳時代までの日本について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとする態度を養う。

##### ③ 単元を貫く問いと学習課題

問い合わせ	古代の日本社会はどのように変化したのだろうか。
学習課題	やよいの風公園をPRするために、弥生時代の特徴がわかるポスターを作ろう。

実践1の課題を踏まえて、西岡（2016）のパフォーマンス課題とループリックの考え方を参考に、より複雑性の高い学習課題を設定し、ループリック（評価基準表）を作成した。

#### ④ 単元計画（全5時）

次	配時	学習活動
一	1	日本列島の誕生や国の成り立ちについてつかみながら、学習課題を確認し、単元の見通しをもつ。
二	3	Can-Do リストや学習計画表をもとに学習を進めながら、学習課題のレポートやポスターを作成する。
三	1	学習課題を完成させ、単元を通しての学習を振り返る。

##### (2) 実際と考察

###### ① 実際

###### ア 課題設定

第1時の授業前半で、旧石器時代から古墳時代にかけての日本の様子について想起させるため、「日本はいつ誕生したか?」という発問を行い、近くの生徒と意見交流をさせた。その後、日本列島の誕生の時期や状況について示し、日本における国の誕生について考えさせ、その中で、「古代における日本の社会はどのように変化したのだろうか」という単元を貫く問い合わせを設定した。その際、実践1と同様に、フォームで現時点での考えを記述させ、学習を終えた段階での自分の考えと比較させるために、スプレッドシートへと反映させた。

次に、校区に古代の遺跡が点在することに気付かせるとともに、「やよいの風公園をPRするために、弥生時代の特徴がわかるポスターを作ろう」という学習課題を提示し、【資料36】のループリックを説明、共有した。

ポスター作成のループリック			
ループリック（評価基準）を参考にして、良い作品を仕上げよう！※更新する可能性があります。			
S	35 ポイント レベルAの観点を十分に満たしたうえで、特に優れた工夫がある。	A	30 ポイント レベルBの観点を十分に満たしたうえで、東アジアとのつながりなど国際的な視点からも考察し、表現している。
B (合格)	20 ポイント 単元の学習の成果を生かして、縄文時代や古墳時代と比較しながら、「弥生時代の特徴」を考察し、表現している。	C	10 ポイント レベルBの観点をおおむね満たしていると言えない。

##### 【資料36】学習課題のループリック

その後、単元全体の学習の見通しをもたせるために、社会科 Can-Do リスト【資料37】、用語チェックリスト【資料38】、学習シート【資料39】を提示した。

単元を貫く問い合わせ:古代の日本社会はどのように変化したのだろうか。					学習した日付の色で塗りつぶそう	全員が「わかる」を目指そう！	
					やってみた	わかる	説明できる
社会科CanDoリスト ～できるようになったことに色をつけよう～	1 12/5(月) ミライシード	2 12/6	3 12/7	4 12/8	5 12/12 教科書 eboard NHK for school		
1 旧石器時代の人々の暮らしについて調べよう	p30				一万年前の日本人 三内丸山遺跡	.	○
2 縄文時代の人々の暮らしについて調べよう	p30-31				縄文時代	.	○
3 縄文文化の具体例を三つ挙げよう	p30-31					.	○
4 【ステップ1】縄文時代の人々の生活は旧石器時代からどのように変わったか	p30-31					.	○
5 弥生時代に大陸から伝わったもの調べよう	p32				弥生時代	.	○
6 中国の歴史書から弥生時代の日本の様子を読み取ろう	p32-33					.	○
7 【ステップ2】弥生時代になって社会はどのように変わったか	p32-33					.	○
8 古墳や大和政権について調べよう	p35				弥生～古墳時代	.	○
9 古墳時代の文化について調べよう	p35-36					.	○
10 古墳時代に渡来人が大陸から伝えたものを調べよう	p36					.	○
11 【ステップ3】大和政権と大陸の交流について説明しよう	p35-36					.	○
12 【知識】語句を説明しよう（▶右の「語句」タブ）	p30-35					.	○
13 やよいの風公園をPRするために、弥生時代の特徴がわかるポスターを作ろう	p30-35					.	○

##### 【資料37】社会科 Can-Do リスト

✓ キーワード		意味を説明できた語句にチェックを入れよう		
<input type="checkbox"/> 氷河期	p30	<input type="checkbox"/> 稲作	<input type="checkbox"/> 大和政権	
<input type="checkbox"/> 打製石器		<input type="checkbox"/> 弥生土器（色・特徴）	<input type="checkbox"/> 古墳	p34
<input type="checkbox"/> 縄文土器（色・特徴）		<input type="checkbox"/> 青銅器・鉄器	<input type="checkbox"/> 大王	
<input type="checkbox"/> 貝塚	p31	<input type="checkbox"/> 漢書・後漢書	<input type="checkbox"/> 高句麗	
<input type="checkbox"/> たて穴住居		<input type="checkbox"/> 金印	<input type="checkbox"/> 百濟	
		<input type="checkbox"/> 魏志倭人伝	<input type="checkbox"/> 新羅	
		<input type="checkbox"/> 邪馬台国	<input type="checkbox"/> 伽耶地域	
		<input type="checkbox"/> 卑弥呼	<input type="checkbox"/> 渡来人	
		<input type="checkbox"/> 朝貢		
				p35

### 【資料38】用語チェックリスト

ステップ1：日本列島に住み始めた人々は、どのような生活をしていたのでしょうか。  
◇純文時代の具体例を3つ挙げよう

◇純文時代の人々の生活は旧石器時代からどのように変わったか、30字程度で説明しよう。

### 【資料 41】学習計画表

【資料 41】学習計画表



#### 【資料 42】学習計画表を作成している生徒の様子

ステップ2：釋作が始まって、社会はどのように変化したのでしょうか。

○弥生時代に大陸から伝わったものを二つ挙げましょう。

ツイッター + Instagramで  
表示できるよ！

○弥生時代になって社会はどのように変わったか、大陸の影響に着目して説明しましょう。

ツイッター + Instagramで  
表示できるよ！

ステップ3：大和政権はどのように勢力を広げ、中国や朝鮮半島とどのような交流をしたのでしょうか。

○渡来人が大陸から伝えたものを三つ挙げましょう。

ツイッター + Instagramで  
表示できるよ！

○大和政権と大陸の交流について、次の語句を使って説明しましょう。〔 聞き手 ／ 渡来人 〕

### 【資料 39】学習シート（上から順にステップ1、2、3）

生徒は実践1同様、【資料40】のように社会科Can-Doリストや用語チェックリストを参考にしながら、教科書や学習動画、オンラインドリルなどをそれぞれ選び、学習に取り組んでいた。実践1と比べ、教科書の順序に沿って学習している生徒が多数いた。

【資料40】進捗に合わせて、色をつけている様子

#### イ 予見・遂行（单元内自由進度学习）

第1時の最後に、実践1同様、学習の見通しをより具体化させるために、単元を貫く学習計画を立てさせた【資料41】。その際、生徒同士でお互いの計画表を確認させ、無理な計画になっていないか、交流させた。

また、第2時から第5時までの毎時間の授業の冒頭や終末に、進捗状況に応じた修正を行わせた。その際、机間指導を行なながら、手が止まっている生徒や支援を求める生徒

#### 【資料43】コメントによるフィードバック（太枠内）

【資料 44】のように実践 1 と比較して、振り返りの内容が充実した生徒の様子も見られた。

社会科振り返りシート						
OK!						
単元を貫く問い合わせ：アジア州における急速な経済成長は、地域にどのような影響を与えているだろうか。						
学習日	今日の目標 (ドリル式であります)	今したこと (学び方の振り返り)	左記以外で行ったこと (他の学びの経験度)	今日の学び (学んだ内容の振り返り)	読み直し	ゴールに向けて
6/30(木)	アジア州の事を10題覚える。	読み直し	読み直し	読み直し	読み直し	読み直し
7/1(金)	計画どうりできようがんばります	読み直し	読み直し	読み直し	読み直し	読み直し
7/2(土)	計画以上のことをできるようにする	読み直し	読み直し	読み直し	読み直し	読み直し
7/3(日)	難しいことは先生や先生に聞いてやる。ステップ2を終わらせる。	読み直し	読み直し	読み直し	読み直し	読み直し

社会科振り返りシート						
OK!						
単元を貫く問い合わせ：古代の日本社会はどうに変化したのだろうか。						
学習日	今日の目標 (ドリル式であります)	今したこと (学び方の振り返り)	左記以外で行ったこと (他の学びの経験度)	今日の学び (学んだ内容の振り返り)	読み直し	ゴールに向けて
12/1(月)	古生時代と縄文時代の違いを学ぶ。文部省用意したものを読みます。	読み直し	読み直し	読み直し	読み直し	読み直し
12/2(火)	洪荒時代になって変わった所や同じことをどう比較しながら制作します。	読み直し	読み直し	読み直し	読み直し	読み直し
12/3(水)	今まで書けたこの復習をして、ポスターを作ります。	読み直し	読み直し	読み直し	読み直し	読み直し
12/4(木)	ポスターについての復習をして、ポスターで出来ます。どうぞ参考にしてください。	読み直し	読み直し	読み直し	読み直し	読み直し

【資料 44】振り返りシートの変化（上：実践 1、下：実践 2）

## ウ 自己内省

第5時の終末で、完成したポスターと学習シートを提出させた。【資料 45】は生徒が作成したポスターの一例である。



【資料 45】生徒が作成したポスター

その後、単元の学習の振り返りとして、【資料 46】のシートに単元を貫く問い合わせに対する、自分の考えを改めて記述させ、最初の授業の段階での考え方と比較させた。その際、自分の考え方の変化に注目させ、単元の学習全体を振り返らせた。

単元を貫く問い合わせ：アジア州における急速な経済成長は、地域にどのような影響を与えているだろうか。		
【見通し】最初の授業の段階での自分の考え方		
人が集まって、文化ができる、リーダーができる。 まとまりができる、知識が発達し、人が進化していく。		
【まとめ】学習を終えた段階での自分の考え方		
複数文化で、人が集まつて暮らすようになり、別々の文化が混ざり合って、新しい文化が生まれる。 古事記時代では、朝鮮半島での争いによじつけられました。 時代が変わると、技術が発展し、多くの人がそれをつくるようになった。		
【振り返り】「見通し」の段階での自分の考え方と「まとめ」の自分の考え方を比較して、変わった点や気づいた点を記入しよう！		
「人が進む」とまでの見通しはあっていたけれど、文化からは遠った。 人を集めることで、文化が生まれ、豊かさが生まれ、それがまた、自分たちの文化を豊かにする。 気付かずして人はどのようにならぬかと大きくなっていることがこの学習でわかった。		

【資料 46】単元の学習の振り返り（太枠内）

また、学び方に注目した自己内省を促すため、【資料 47】の振り返りシート（遂行時）を見ながら、単元内自由進度学習における学習の方法等の振り返りを行わせた。

社会科振り返りシート		
OK!		
単元を貫く問い合わせ：古代の日本社会はどうに変化したのだろうか。		
学習日	今日の目標 (ドリル式であります)	今したこと (学び方の振り返り)
12/1(月)	古生時代と縄文時代の違いを学ぶ。文部省用意したものを読みます。	読み直し
12/2(火)	洪荒時代になって変わった所や同じことをどう比較しながら制作します。	読み直し
12/3(水)	今まで書けたこの復習をして、ポスターを作ります。	読み直し
12/4(木)	ポスターについての復習をして、ポスターで出来ます。どうぞ参考にしてください。	読み直し
【見出し】古代の日本社会はどうに変化したのだろうか。		
学習日	今日の目標 (ドリル式であります)	今したこと (学び方の振り返り)
12/1(月)	古生時代の社会の変化について調べる。	読み直し
12/2(火)	大和政権と大陸の交流について調べ、ステップ3にまとめる。	読み直し
12/3(水)	まとめることを生かして、ポスターを作成します。	読み直し
12/4(木)	ポスターの完成度を評価する。	読み直し
【まとめ】古代の日本社会はどうに変化したのだろうか。		
【振り返り】単元を通じた台目の学び方振り返り（「工夫したことや意識したことなど」）		
単元は、単元通りでやっていくけど、だんだんラフでも通用できるようになった。また、わからなかったりしたときは、友達に聞くようにした。ポスター作成のときは、他の人に手伝ってもらったりして作成できた。		

【資料 47】単元の学び方の振り返り（太枠内）

## ② 考察

### ア 課題設定への支援

実践 2 後に教師の支援と生徒の学習実態に関するアンケートを実施した。その結果の一覧が【資料 48】である。実践 2 の実際と【資料 48】を照らし合わせた考察を以下に述べていく。なお、ここでは実践 1 からの修正点を中心に考察する。

教師の支援と生徒の学習実態に関するアンケート n=56	
1. 学習をがんばれたか（4件法／肯定的回答）	92.9%
2. 課題の仕上がりへの満足度（5件法）	平均 3.8
3. 自由進度学習を行う上で～～は役に立ちましたか。（4件法／肯定的回答）	
3-1. 単元を貫く問い合わせと学習課題	89.3%
3-2. ★ループリック	89.3%
3-3. 社会科 Can-Do リスト	73.2%
3-4. 用語チェックリスト	76.8%
3-5. 学習計画表	82.1%
3-5-1. 振り返りシート（遂行時）	96.4%
3-5-2. ★教師のフィードバック	94.6%

【資料 48】実践後アンケート（★は実践 2 で追加されたもの）

「単元を貫く問い合わせと学習課題」については、実践 1 の課題を踏まえて、より複雑性の高い学習課題を設定すると共に、ループリックを作成、共有した。その結果、肯定的回答が 89.3% であり、実践 1 後から 3.8 ポイント上昇した。各回答の理由として次のような記述が見られた。

○ポスターを作るとときや、学習シートをまとめるときに「単元を貫く問い合わせ」をいつでも見ることができるからまとめやすかつた。
○これを元に目標や達成することを決めて、自主的に学習に取り組めた。何のために課題に取り組んでいるかを意識しやすかつた。
○ポスター作成が課題になって、やりがいもあったのでやる気がでた。
●見ていたが、最後の方はあまり意識できていなかった。

【資料 49】回答の理由（Oが肯定的回答、●が否定的回答の理由）

多くの生徒がポスター作成について記述していると共に、課題へのやりがいを表現していた。このことから、より複雑性の高い課題を設定したことでの、生徒の学習意欲が喚起されたと考える。また、生徒が作成した【資料 45】のポスターから、調べたことを構造化して配置したり、重要性の高いものを強調したりといった工夫を見取ることができる。このことから、実践 2 の学習課題の工夫が生徒の思考力・判断力・表現力等をより表出させるものとして有効であったと考える。

【資料 50】のように生徒が協働して学習に取り組む姿がより多く見られたことも、教師の支援の有効性を示唆していると考える。



【資料 50】課題に取り組む生徒の姿

#### イ 予見・遂行（単元内自由進度学習）への支援

「ループリック」については、肯定的回答が 89.3% であった。各回答の理由として次のような記述が見られた。

- 作る基準があると目標も完成イメージも思いつきやすいし、すごく参考にした。
- 評価の基準がわからることで「どれをすればいいのか」がわかつた。
- 評価基準を参考にしながら、友達とアドバイスを送り合ったりして、良いポスターを作るための工夫ができた。
- 時々見ていたが、あまりわからなかった。

#### 【資料 51】回答の理由（○が肯定的回答、●が否定的回答の理由）

ループリックを参考に見通しをもって課題作成に取り組んだり、相互にアドバイスを送ったりしながら、よりよく思考・判断・表現しようとする生徒の姿がうかがえた。複雑性の高い課題に対して、ループリックが生徒の課題遂行の指針となり、思考力・判断力・表現力等をより表出させるのに有効であったと考える。

「社会科 Can-Do リスト」については、肯定的回答が 73.2% であり、実践 1 後から 2.7 ポイント増加したものの、実践 1 後同様、他の教師の支援と比べて否定的回答をした生徒の割合が高かった。実践 1 の考察では、チェック作業に対する負担感の大きさが、否定的回答の多さにつながり、これについては、操作を繰り返す中で解消されていく課題であると考えていたが、実際には肯定的回答の微増に留まった。各回答の理由として次のような記述が見られた。

- 今日はどこまで終わったかや昨日どこまでやったかが一目でわかる。
- 学習課題に関する動画を見て、ポスター作りの参考にできた。
- 時間が足りずに問題に取り組めなかった。
- 動画を見る時間がなかった。

#### 【資料 52】回答の理由（○が肯定的回答、●が否定的回答の理由）

学習の進捗管理や学習方法の選択に役立てた生徒がいる一方で、社会科 Can-Do リストにリンクを挿入していたオンラインドリルに取り組めなかったり、学習動画を視聴できなかつたりしたことを反省しているような記述が見られた。このことから、オンラインドリルや学習動画は、あくまでも任意の手段であったが、一部の生徒は「取り組まなければならないもの」として捉えていたと考えられる。社会科 Can-Do リストが本来の目的や役割の共有が不足していたと考える。

「振り返りシート（遂行時）」については、実践 1 の課題を踏まえて、振り返りを充実させるために「教師のフィードバック」を行うこととした。その結果、肯定的回答が 96.4% であり、実践 1 後から 1.3 ポイント增加了。

また、「教師のフィードバック」については、肯定的回答が 94.6% であった。各回答の理由として次のような記述が見られた。

- どんな内容を書けば次につながるかわかった。
- 参考にして振り返りの内容が良くなった。
- 学んだ内容の振り返りに先生から質問が来ていたりすると、その答えを考えることで、より学んだ内容を理解することができた。
- 自由進度学習だったとしても、先生からのアドバイスをもえると心強かった。自分で学習する後押しになった。

#### 【資料 53】回答の理由（○が肯定的回答、●が否定的回答の理由）

生徒が教師のフィードバックを参考に学び方や学んだ内容をより深く振り返っている様子がうかがえる。これらのことから、生徒の振り返りに対して、教師のフィードバックが効果的に働き、振り返りが量的にも質的にも充実したと考える。

#### ウ 自己内省への支援

【資料 54】は、生徒による単元の学習の振り返りの様子である。

## 「振り返りシート（単元末）」生徒の記述の一部

- 最初は、教科書だけで調べていたけど、だんだんタブレットも活用できるようになった。また、わからなかったところは、友達に聞くようにした。ポスター作成のときは、他の人を参考にしたりして作成できた。
- 意味がわからない単語は教科書で調べる、教科書のわからない内容は友達に聞く、自分で進められそうなところは1人でどんどん進めるなど、上手く学習を進められるようになってきたと思う。他の教科でも活かしたい。
- まずは自分でスライドにまとめて、書き方がわからなかつたり、他に書き方があったら友達の意見を見て、自分のスライドに取り入れたりしました。お互いに内容も高め合えたし、時間が有効に使えたと思うのでこれからも活かしたいです。
- 目標を意識して活動できた。目標を達成するためにはどのような方法で学習した方法が良いかを考えて取り組むことができた。
- より学ぶ時間を増やすために前回の課題であった文字の打つスピードを音声入力にするなどして早く済ませることができ、友達に質問をしたり、教科書を読み込むことにより時間を使うことができた。また、ポスター制作のために友達の作品を見て参考にしたり、教科書の内容を自分なりにまとめたりすることができ、自分の力で既存の内容を変形させ、より良いものを作り上げる能力が身に付いた気がする。わからなかつた内容は家に持ち帰り、具体的にわからない点を洗い出し自分がどこを理解できていないどこを理解できていないか明確に把握することができた。そのおかげで自分が学ぶべきところを重点的に学習することでより理解が深まつたと思う。
- 前回は、あまり友達と交流ができなかつたので、交流をたくさんしようと意識しました。工夫した点は、自分でここまででは今日中に絶対に終わらすと決め、授業で終わらなかつたら家でしたところです。
- 前の学習を振り返って次の学習方法を変えたり工夫をしたりすることができた。教科書は授業の中で必ず読もうと意識した。質問をたくさんすることで内容がわかりやすくなると想到了ので友達や先生に質問をした。友達とレポートの見せ合いをしたりして、学び方も工夫した。今後の勉強にも活かしていきたい。

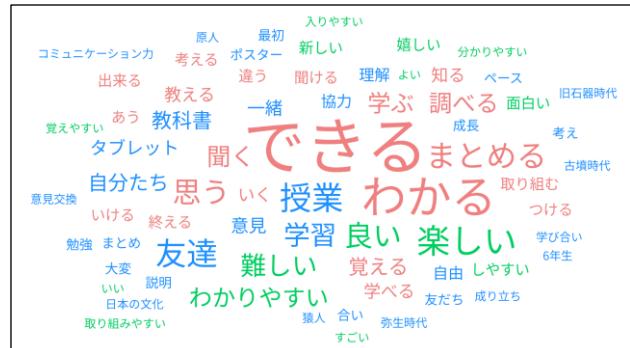
### 【資料 54】振り返りシート（単元末）

下線部から、生徒が学習課題に取り組む際に、目的や自分の学びやすさに応じて、学習の方法を意図的に選択しようとしている様子が読み取れる。また、下線部より、実践1の反省を活かして、学び方を工夫する様子も見られ、1単位時間のみならず、中長期的な視点でも自分の学習活動を改善しようとする姿がうかがえる。さらに、下線部より「他の教科でも活かしたい」等の記述も見られることから、実践2を通して、社会科にとどまらない学習への自己内省を喚起することができたと考える。

### (3) 実践2のまとめ

## ① 生徒の感想

実践2の終了後に改めて「自由進度学習を終えての感想」を記入させた。これをA Iテキストマイニングを使って分析したのが【資料55】である。



【資料 55】「自由進度学習を終えての感想」のワードクラウド

出現頻度が高かった単語は、名詞では「友達」「授業」「学習」「自分たち」、動詞では「できる」「わかる」「まとめる」、形容詞では「楽しい」「良い」であった。実践1後の感想と同様、「できる」が最も出現頻度が高かったが、実践2後の感想では「わかる」がより多く出現し、二番目に高い出現頻度であった。このことから、単元内自由進度学習を通して友達と協力しながら自分たちで学習を進めていくことで、「できる」「わかる」といった手応えを実践1以上に感じていると推察できる。また、動詞では「まとめる」の他に「聞く」「調べる」「教える」といった学習方法に関する単語が出現しており、聞いたり、調べたり、教えたりといった方法を選択しながら学習している様子がうかがえる。

これらのことから、実践1を踏まえて取り入れた教師の支援が、単元内自由進度学習における生徒の主体的な学習の姿引き出すことに有効であったと考える。

## ② 成果

- 実践2から取り入れた学習課題（パフォーマンス課題）により、生徒がより知識及び技能を活用しながら主体的に思考・判断・表現しようとする姿や記述が見られた。その際、評価基準の共有が課題遂行の支援として効果的に働くことが明らかになった。
  - 遂行時の自己内省への支援として、教師がフィードバックを積極的に行うことで、振り返りシート内の記述が量的にも質的にも高まる様子が見られた。また、自己内省への支援として、単元を通した学習の方法について振り返らせたことで、自身の学び方についてより深く振り返る生徒が増えた。

### ③ 課題

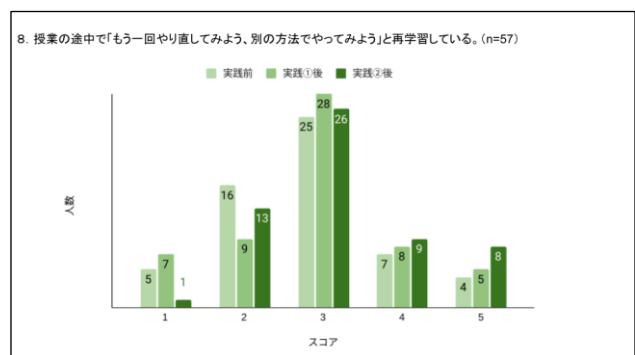
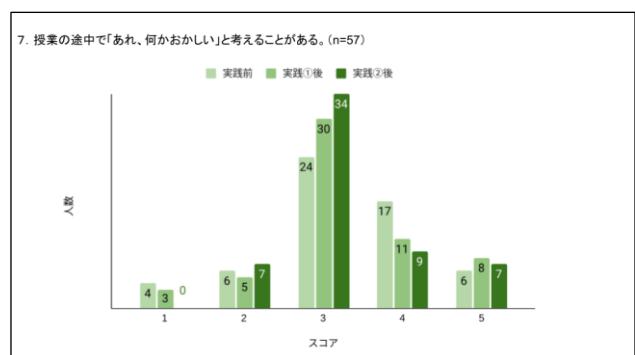
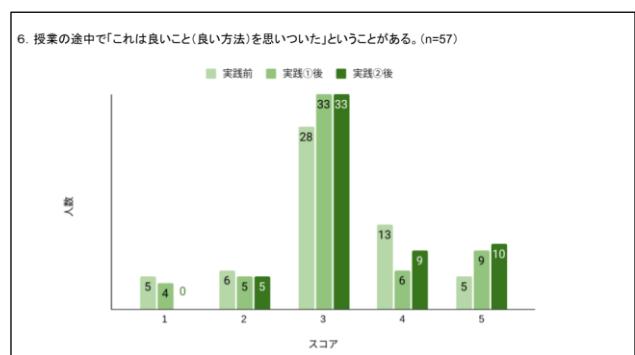
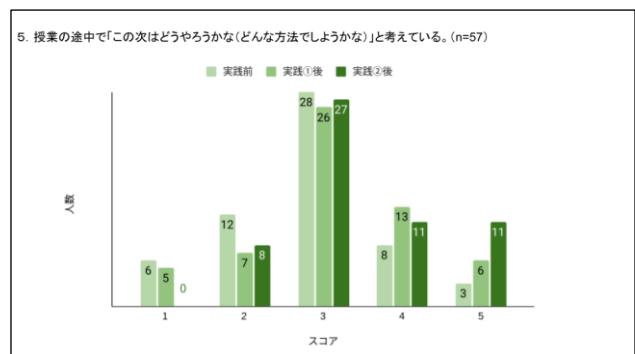
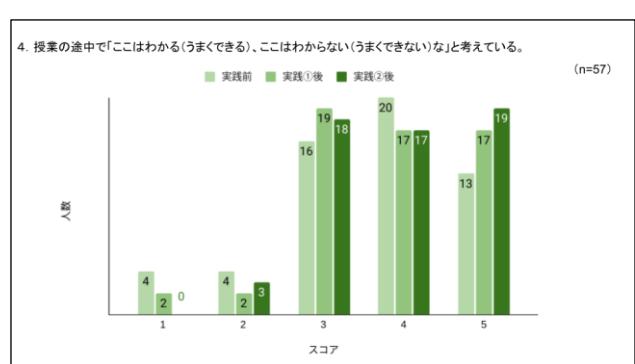
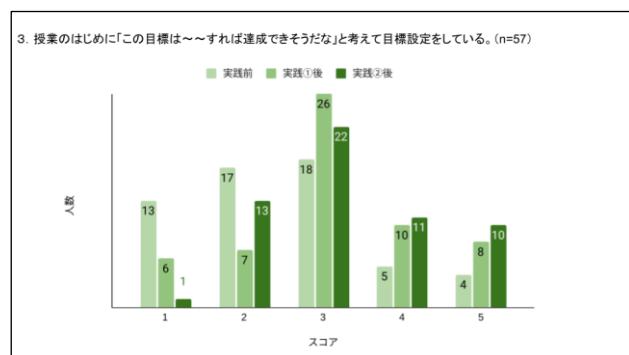
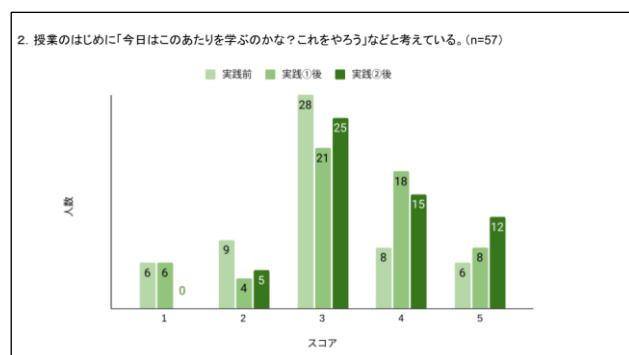
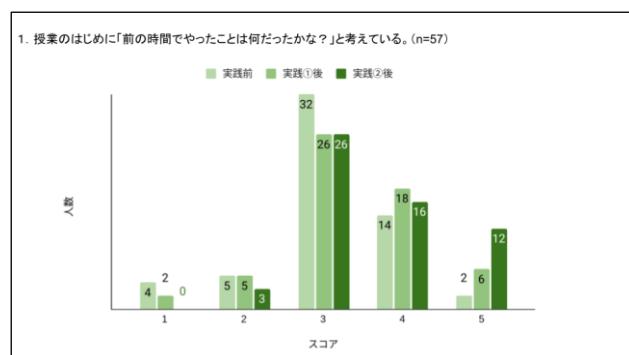
- 社会科 Can-Do リストが一部の生徒に「取り組まなければならないもの」と伝わっており、主体的な学びを引き出すための効果的な支援となっていない部分があった。

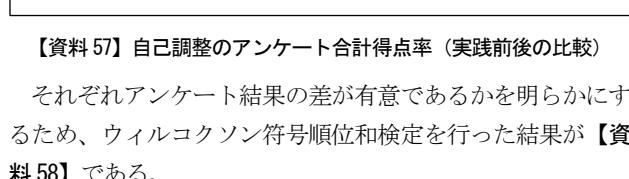
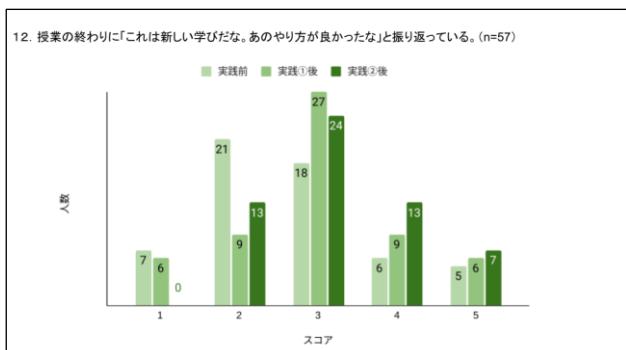
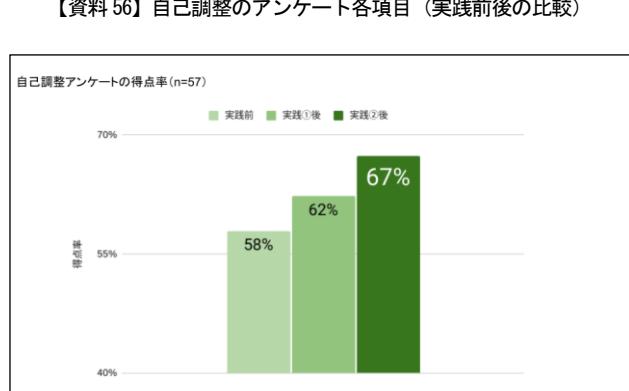
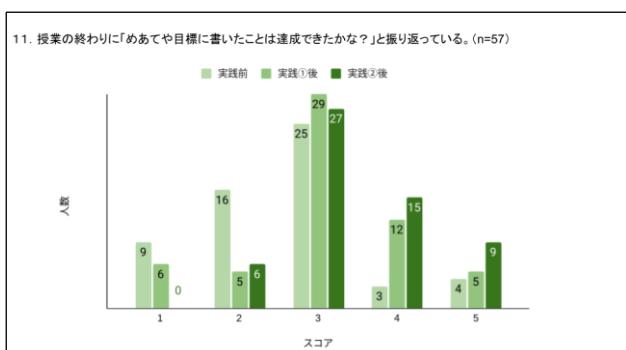
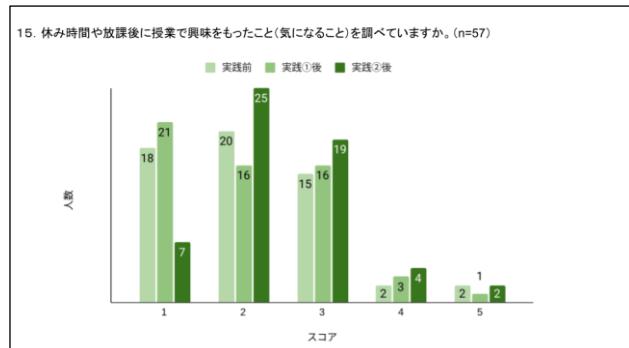
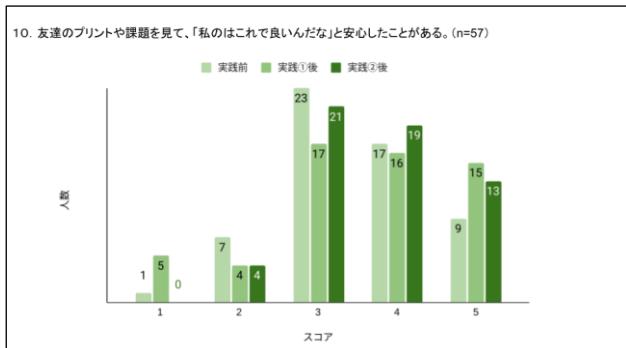
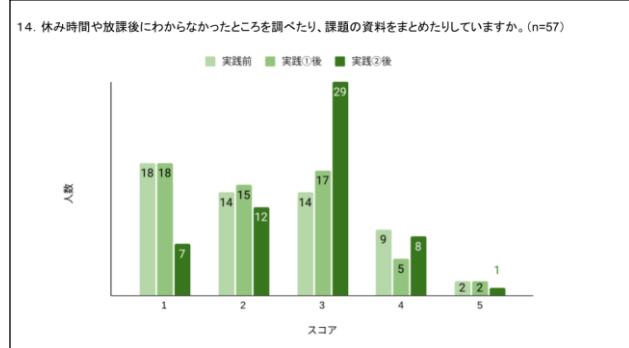
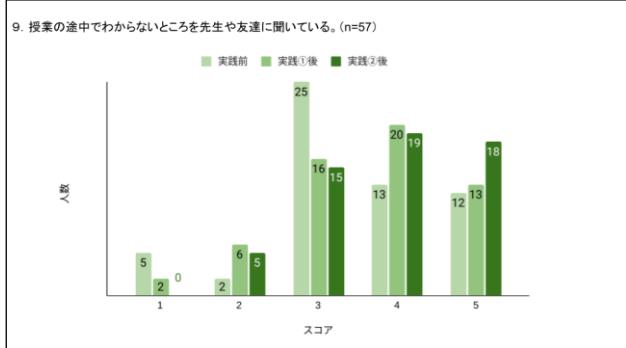
## 8 研究のまとめ

研究全体の考察として、主体的に学び続ける生徒を育むため、単元内自由進度学習において、教師の支援が有効であったか、学習環境づくりがどのような影響をもたらしたかについて述べる。なお、本研究では、生徒が主体的に学んでいるかどうかを、「自己調整しながら学ぼうとしているか」「知識及び技能を獲得し、思考力・判断力・表現力等を高められたか」の二つの観点から評価する。「自己調整しながら学ぼうとしているか」については、自己調整に関するアンケート（自己評価）、「知識及び技能を獲得し、思考力・判断力・表現力等を高められたか」については、教師による作品分析（客観評価）によって行う。

### ① 教師の支援の有効性

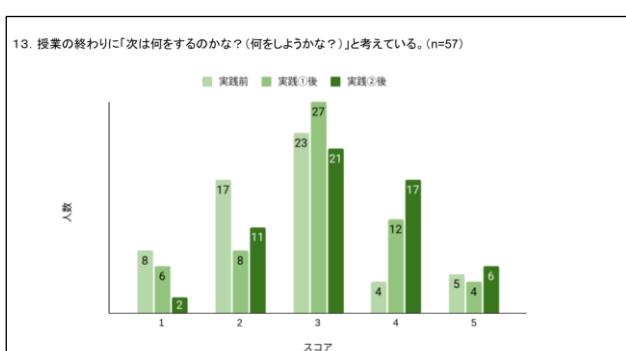
「自己調整しながら学ぼうとしているか」について、実践前、実践1後、実践2後に【資料9】の自己調整に関するアンケート項目について5件法で回答させた。各項目の結果は【資料56】、15項目の合計得点率は【資料57】のようになつた。





質問	前-①		①-②		判定	
	判定	判定	判定	判定		
1	0.010	*	0.007	**	0.000	***
2	0.022	*	0.025	*	0.000	***
3	0.000	***	0.144		0.000	***
4	0.107		0.141		0.033	*
5	0.020	*	0.017	*	0.000	***
6	0.288		0.038	*	0.020	*
7	0.465		0.476		0.464	
8	0.215		0.033	*	0.004	**
9	0.206		0.026	*	0.006	**
10	0.228		0.130		0.040	*
11	0.002	**	0.002	**	0.000	***
12	0.011	*	0.031	*	0.000	***
13	0.020	*	0.041	*	0.001	***
14	0.265		0.001	**	0.010	*
15	0.322		0.004	**	0.010	*
平均	0.005	**	0.0007	***	0.000	***

\*\*\* p < 0.001, \*\* p < 0.01, \* p < 0.05



【資料 58】 ウィルコクソン符号順位和検定

実践前、実践1後と実践2後の結果を比較すると、15項目中11項目において、肯定的回答をした生徒が増加し、そのうち全ての項目で差が有意であることが示された【資料56・58】。また、合計得点率についても、実践前と実践2後で9ポイントの増加がみられ、その差も有意であった【資料57・58】。これらのことから、自己評価ではあるものの実践を重ねるごとに、生徒の自己調整の在り方に肯定的な変化が起こっていることが考えられる。

「知識及び技能を獲得し、思考力・判断力・表現力等を高められたか」について、実践1、2のそれぞれで教師による客観評価を行った。また、各実践後にアンケート「単元内自由進度学習を終えて」を生徒に自由記述させた。【資料59】は、単元内自由進度学習に対して「肯定的な記述をした生徒」、「否定的な記述をした生徒」、あるいは、「肯定・否定両方の記述をした生徒」の評価を一覧にしたものである。なお、実践2では、より多様な生徒の姿を評価するために、Aよりも上位の評価としてSを設けている。

評価	肯定 n=48			両方 n=17			否定 n=2			合計 n=61			B評価以上の割合	
	知・技	思・利・表	知・技 思・利・表	知・技	思・利・表	知・技 思・利・表	知・技	思・利・表	知・技 思・利・表	知・技	思・利・表	知・技	思・利・表	
A	12	9	5	4	2	1	19	14	96.7%	74.2%				
B	28	21	12	10	0	1	40	32						
C	2	12	0	3	0	1	2	16						

評価	肯定 n=52			両方 n=6			否定 n=1			合計 n=59			B評価以上の割合	
	知・技	思・利・表	知・技 思・利・表	知・技	思・利・表	知・技 思・利・表	知・技	思・利・表	知・技 思・利・表	知・技	思・利・表	知・技	思・利・表	
A・S	21 (4)	15 (4)	5	4	0	0	26	19	89.8%	74.6%				
B	25	24	1	1	1	0	27	25						
C	6	13	0	1	0	1	6	15						

※AとSを合算して表記 ( ) はSの生徒の人数

#### 【資料59】生徒の感想（肯定・否定・両方）と評価の関係

【資料59】より、実践1から実践2にかけて、単元内自由進度学習への肯定的意見が増加していることがわかる。実践1と2では学習した分野が違うため、単純な比較はできないが、学習活動への参加意欲が実践ごとに向上していると考えることができる。また、B以上の評価を受けた生徒の割合から、実践1・2の両単元の目標を達成できたと考える。

一方で、実践1から2にかけてB以上の評価を受けた生徒の割合は、知識及び技能で-6.9ポイント、思考・判断・表現でほぼ横ばいとなっている。これは、課題の複雑性が高まることによって起こった結果と捉えている。また、実践2において「否定的な記述をした生徒」の評価が低いこと、「肯定的な記述をした生徒」の中にも、C評価の生徒が一定数いることから、つまずきの解消や活動への参加意欲の喚起、より深く学ばせるためのさらなる支援の工夫が必要であったと考えられる。

#### ② 学習環境づくりについて

実践後のアンケート「自由進度学習を終えての感想」の生徒の記述の一部を抜粋したものが【資料60】である。

「自由進度学習を終えての感想」生徒の記述の一部

- 自分が調べたいことをすぐ調べることができて、取り組みやすかった。
- 分からなかったら、友達、先生にすぐに聞けることがよかったです。自分のペースに合わせて進めることができるのもよかったです。
- 気軽に色々な人に話しかけられて、普段話さない人とコミュニケーション

ーションを取ることができた。

- 普段タブレットを使って、自分でまとめたり学習したりすることはなかったけど、教科書やタブレットなどで調べながらまとめてることで、自分の正しい学習の仕方や自分のスピードに合わせて学習することができて、いつもよりも理解できた。
- 自分の言葉でまとめることができる。友達の意見や考えを気軽に聞くことができる。自分のペースに合わせて進めることができるのがよかったです。
- 自分はよく学んだことを忘れやすいので、自由進度学習でその時その時で学んだことを振り返ることもできるから、とてもやりやすかったです。
- 授業でも先生に聞きづらい時があるので移動できたり、友達に質問しながら学習できたりしたことがすごくやりやすかったです。
- ポスターを通して、わからないことを自分のペースで学ぶことができた。しかし、自分で学習したため、問題を解く時にわからないところが出てきた。
- 友達に話しかけにくい人とかがいると思うので、短い時間でもよいので班や隣の人と話す時間をとった方がよいと思いました。
- 少しでも先生が全体で説明してくれればいいと思う。

#### 【資料60】生徒の感想

以上のような記述から、学習において、方法や形態、そして順序の裁量権を生徒へ委ねるという単元内自由進度学習の学習環境づくりが、生徒の学習活動への主体的な参加を促すのに一定の効果があったと考える。また、いつでも質問ができたり、自分のペースで学び直しができたりすることから、「いつもよりも理解できた」「やりやすかった」という記述があり、学習事項への理解にも一定の効果があったと考えられる。一方で、もう少し教師の介入が欲しかったという旨の記述もあり、生徒に裁量権を委ねる中で、「誰に」「いつ」「どのような」支援を行えばより生徒の学びを深めができるかについては、さらに追究していく必要があると考える。

また、本研究では、学習環境づくりのどの部分が、主体的に学び続ける生徒を育むことにどのような好影響を与えたのかまでは、明らかにすることはできなかった。これも今後の研究の課題としたい。

#### ③ 研究の成果

- 単元内自由進度学習において、課題設定、予見、遂行、自己内省への支援を教師が行うことが、生徒の自己調整の力に一定の肯定的な影響を与え、主体的に学ぶ生徒の育成に有効であることが明らかになった。
- 生徒がより思考力・判断力・表現力等を表出するようなパフォーマンス課題の設定を行うことが、生徒の試行錯誤や学習活動への主体的な参加を促し、主体的に学ぶ生徒の育成に有効であることが明らかになった。
- 学習における、方法・形態・順序の裁量権を教師から生徒へと委ねることが、生徒の学習活動への主体的な参加を促し、主体的に学ぶ生徒の育成に有効であることが明らかになった。

#### ④ 研究の課題

- 複雑性の高い学習課題に自由進度で取り組ませる際に、生徒のつまずきを解消するためや、より深く学ばせるため

に、教師が「誰に」「いつ」「どのような」支援を行うべきかを追究していく必要がある。

- 社会科 Can-Do リストについては、生徒に「取り組まなければならぬもの」と伝わっていたため、目的や役割について十分に共有する必要がある。
  - 学習環境づくりにおいて、方法・形態・順序の裁量権のどれを生徒に委ねることが、生徒の主体性に好影響を与えたのかについては、今後、究明することが必要である。
- 

#### 引用文献

- 1 日本財団 18歳意識調査「第46回 -国や社会に対する意識(6カ国調査)-」報告書 P11 (2022)
- 2 中央教育審議会 幼稚園 小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の学習指導要領等の改善及び必要な方策等について(答申) P10-11 (2016)
- 3 福岡市教育委員会 第2次教育振興基本計画 P13-17 (2019)
- 4 文部科学省 令和3年度全国学力・学習状況調査 (2021)

#### 参考文献・参考資料

- 1 鹿毛雅治 学習意欲の理論—動機づけの教育心理学— 金子書房 (2013)
  - 2 B. J. ジマーマン/D. H. シャンク 自己調整学習 ハンドブック 北大路書房 (2014)
  - 3 西岡加名恵 教科と総合学習のカリキュラム設計—パフォーマンス評価をどう活かすか— 図書文化社 (2016)
  - 4 鹿毛雅治/犬塚美輪 パフォーマンスがわかる12の理論 金剛出版 (2017)
  - 5 鈴木雅之 教育心理学からみた主体性 大学入試における「主体性」の評価—その理念と現実— 東北大学出版会 P32-48 (2019)
  - 6 国立教育政策研究所教育課程研究センター 「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料【中学校 社会】 東洋館出版社 (2020)
  - 7 白井俊 OECD Education2030 プロジェクトが描く教育の未来—エージェンシー、資質・能力とカリキュラム— ミネルヴァ書房 (2020)
  - 8 中谷素之/岡田涼/犬塚美輪 子どもと大人の主体的・自律的な学びを支える実践 福村出版 (2021)
  - 9 萩手章吾 子どもが自ら学びだす!自由進度学習のはじめかた 学陽書房 (2021)
  - 10 竹内淑子 新装版 教科の一人学び「自由進度学習」の考え方・進め方 黎明書房 (2022)
- 

Google スライド、Google フォーム、Google スプレッドシートはGoogle LLC の商標または登録商標です。

1 年 組 番 ここに名前を入力

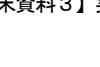
単元を貢く問い合わせ

【見通し】最初の授業の段階での自分の考え方	【まとめ】学習を終えた段階での自分の考え方
最初の授業で先生から配信されるGoogleフォームで回答してください。	
学習を進めながら考えをまとめていこう！	
【振り返り】「見通し」の段階の自分の考え方と「まとめ」の自分の考え方を比較して、加わった点や気づいた点を記入しよう！	

【卷末資料1】実践1の単元のまとめ・振り返りシート

単元を貢く問い合わせ:		学習した日付の色で塗りつぶそう								全員が「わかる」を目指そう！		
社会科CanDoリスト ～できるようになつたことに色をつけよう～		1	2	3	4	5	6	7	8	やった	わかる	説明できる
1	アジア州の主な国々の国名と位置がわかる	p50-51	雨温図・気候帯・グラフ	ミライシード	教科書	eboard	NHK for school	アジアの地域	アジア州のあらまし	.	○	◎
2	アジア州の地域区分がわかる	p50-51						アジアの地形と気候		.	○	◎
3	アジア州の地形がわかる	p50-51						中国の産業	中国の人団	.	○	◎
4	アジア州では、気候にどのような特色が見られるか	p50-51								.	○	◎
5	アジア州では、どのような農業が行われてきたか	p52-53								.	○	◎
6	アジア州の人口分布と地形や気候はどのような関わりがあるか	p52-53								.	○	◎
7	【ステップ1】中国の急速な経済発展によってどのような課題が生じているか	p54-55								.	○	◎
8	【ステップ1】韓国の文化や経済の発展によってどのような影響があったか	p56-57								.	○	◎
9	【ステップ1】東南アジアはどのように経済を発展させてきたのか	p58-59						東南アジア	都市の人口が増え るアジア	.	○	◎
10	【ステップ1】南アジアはどのような発展を続けているか	p60-61						南アジア		.	○	◎
11	【ステップ1】中央アジア・西アジアはどのような産業が発展したか	p62-63						西アジア・中央アジア		.	○	◎
12	【知識】学んだことを確かめよう 解答	p64								.	○	◎
13	【知識】語句を説明しよう（▶右の「語句」タブ）	p64								.	○	◎
14	【ステップ2】	p65								.	○	◎
15	【ステップ3】アジア州の国や地域の課題を解決するための取り組みを考えよう。	p65								.	○	◎

【卷末資料2】実践1の社会科 Can-Do リスト（オンラインドリルや学習動画コンテンツ等のリンクあり）

単元計画を立てて、見通しをもって学習に取り組もう！			
アジア州の国名 p50	アジア州の宗教 p51	アジア州の地形 p50	テスト・ワーク
     			
     			
     			
     			
<p>アジア州では、気候にどのような特色がみられるか p50-51          アジア州では、どのような農業が行われてきたか p52-53          アジア州の人口分布の特色について説明しよう p52-53          中国の経済発展はどのような影響があったか p54-55          韓国の文化や経済の発展はどのような影響があったか p56-57          東南アジアはどのようにして経済発展したのか p58-59          南アジアはどのようにして経済発展したのか p60-61          中央アジア・西アジアはどのような産業が発展したか p62-63</p> <p>ステップ1完了（全員）          ステップ2完了（全員）          ステップ3完了（任堂）</p>			

【卷末資料3】実践1の学習計画表

## ✓ キーワード

意味を説明できた語句にチェックを入れよう

<input type="checkbox"/> 季節風（モンスーン）	p51	<input type="checkbox"/> 一人っ子	p54	<input type="checkbox"/> 工業団地	p59
<input type="checkbox"/> 雨季		<input type="checkbox"/> 経済特区		<input type="checkbox"/> 東南アジア諸国連合（ASEAN）	
<input type="checkbox"/> 乾季		<input type="checkbox"/> 世界の工場		<input type="checkbox"/> スラム	
<input type="checkbox"/> かんがい	p52	<input type="checkbox"/> 経済格差	p55	<input type="checkbox"/> 情報通信技術（ICT）関連産業	p60
<input type="checkbox"/> 稲作		<input type="checkbox"/> 大気汚染		<input type="checkbox"/> パイプライン	
<input type="checkbox"/> 畑作		<input type="checkbox"/> ハングル	p56	<input type="checkbox"/> 石油輸出国気候（OPEC）	p62
<input type="checkbox"/> 遊牧		<input type="checkbox"/> 儒教		<input type="checkbox"/> 難民	
<input type="checkbox"/> 仏教	p53	<input type="checkbox"/> 一極集中	p57		p63
<input type="checkbox"/> イスラム教		<input type="checkbox"/> 華人			
<input type="checkbox"/> ヒンドゥー教		<input type="checkbox"/> 二期作	p58		
<input type="checkbox"/> キリスト教		<input type="checkbox"/> プランテーション			

【巻末資料4】実践1の用語チェックリスト

## 社会科振り返りシート

OK!

単元を貫く問い合わせ

学習日	今日の目標 (ぎりぎり達成できそうな目標)	今日したこと (学び方の振り返り)			左記以外で行ったこと	今日の目標 の達成度	今日の学び (学んだ内容の振り返り)	進み具合	ゴールに向けて

【巻末資料5】実践1の振り返りシート（入力フォームのリンクあり）

### アジア州の経済成長の背景とその影響についてまとめよう

「alt」+「Enter」で改行できるよ！

経済成長の背景		経済成長によって生じた影響【○：良くなった点、▲：課題点】
中国		
韓国		
東南アジア		
南アジア		
中央アジア 西アジア		

### 「単元を貫く問い合わせ」への考え方を作って、説明しよう！

作業1：中国・韓国・東南アジア・南アジアでの急速な経済成長の背景には、どのような共通点があるのだろうか。

ステップ2までは全員が達成しよう！

作業2：アジア州における急速な経済成長は、地域全体にどのような影響を与えているのだろうか。

地理的な見方・考え方を働きかせよう！（教科書巻頭7）

「ほかの場所への影響」「地域全体の傾向」

「alt」+「Enter」で改行できるよ！

### 【発展】持続可能な社会に向けて考えよう！

作業1：5つの国や地域から1つを選び、その国で生じている課題の原因を考えよう。

国・地域	経済成長によって生じた影響（ステップ1で入力）
	◀ 左のセルを選択して「中国」「韓国」「東南アジア」「南アジア」「中央アジア・西アジア」から一つ選ぼう。
▲課題の原因	

作業2：上の課題に対して、どのような取り組みを行うと、よりよい社会になるか考えよう。

よりよい社会を目指して	
-------------	--

1 年 組 番 ここに名前を入力

単元を貢く問い合わせ

【見通し】最初の授業の段階での自分の考え

最初の授業で先生から配信されるGoogleフォームで回答してください。

【まとめ】学習を終えた段階での自分の考え方

【振り返り】「見通し」の段階の自分の考え方と「まとめ」の自分の考え方を比較して、加わった点や気づいた点を記入しよう！

【巻末資料7】実践2の単元のまとめ・振り返りシート

単元を貢く問い合わせ:					
社会科CanDoリスト ～できるようになつたことに色をつけよう～					
	1 12/5(月)	2 12/6	3 12/7	4 12/8	5 12/12
1	旧石器時代の人々の暮らしについて調べよう	p30			
2	縄文時代の人々の暮らしについて調べよう	p30-31			
3	縄文文化の具体例を三つ挙げよう	p30-31			
4	【ステップ1】縄文時代の人々の生活は旧石器時代からどのように変わったか	p30-31			
5	弥生時代に大陸から伝わったもの調べよう	p32			
6	中国の歴史書から弥生時代の日本の様子を読み取ろう	p32-33			
7	【ステップ2】弥生時代になって社会はどうに変わったか	p32-33			
8	古墳や大和政権について調べよう	p35			
9	古墳時代の文化について調べよう	p35-36			
10	古墳時代に渡来人が大陸から伝えたものを調べよう	p36			
11	【ステップ3】大和政権と大陸の交流について説明しよう	p35-36			
12	【知識】語句を説明しよう (▶右の「語句」タブ)	p30-35			
13	やよいの風公園をPRするために、弥生時代の特徴がわかるポスターを作ろう	p30-35			

ミライシード 教科書 eboard NHK for school

学習した日付の色で塗りつぶそう

全員が「わかる」を目指そう！

やってみた わかる 説明できる

縄文時代  
弥生時代  
弥生～古墳時代  
大和政権

一万年前の日本人  
三内丸山遺跡  
村の様子  
中国の歴史書  
縄文と弥生  
大仙古墳  
太和政権

【巻末資料8】実践2の社会科 Can-Do リスト (オンラインドリルや学習動画コンテンツ等のリンクあり)

単元計画を立て、見通しをもって 学習に取り組もう！ 1年 組 番 ここに名前を入力

単元を貢く問い合わせ:

12/5(月)	12/6(火)	12/7(水)	12/8(木)	12/12(月)
---------	---------	---------	---------	----------

学習項目

縄文時代の人々の生活は旧石器時代からどのように変わったか	大和政権と大陸の交流について説明しよう	学んだことを確かめよう	ポスター作成完了
弥生時代になって社会はどうに変わったか	テスト・ワーク	ポスター作成開始	

【巻末資料9】実践2の学習計画表

## ✓ キーワード

意味を説明できた語句にチェックを入れよう

<input type="checkbox"/> 氷河期	p30
<input type="checkbox"/> 打製石器	
<input type="checkbox"/> 縄文土器（色・特徴）	p31
<input type="checkbox"/> 貝塚	
<input type="checkbox"/> たて穴住居	

<input type="checkbox"/> 稲作	p32
<input type="checkbox"/> 弥生土器（色・特徴）	
<input type="checkbox"/> 青銅器・鉄器	p33
<input type="checkbox"/> 漢書・後漢書	
<input type="checkbox"/> 金印	p35
<input type="checkbox"/> 魏志倭人伝	
<input type="checkbox"/> 邪馬台国	p35
<input type="checkbox"/> 卑弥呼	
<input type="checkbox"/> 朝貢	

<input type="checkbox"/> 大和政権	p34
<input type="checkbox"/> 古墳	
<input type="checkbox"/> 大王	p35
<input type="checkbox"/> 高句麗	
<input type="checkbox"/> 百濟	p35
<input type="checkbox"/> 新羅	
<input type="checkbox"/> 伽耶地域	p35
<input type="checkbox"/> 渡来人	

### 【卷末資料 10】実践 2 の用語チェックリスト

#### 社会科振り返りシート

OK!

単元を貢く問い合わせ :

学習日	今日の目標 (ぎりぎり達成できそうな目標)	今日したこと (学び方の振り返り)					左記以外で行ったこと	今日の目標 の達成度	今日の学び (学んだ内容の振り返り)	進み具合	ゴールに向けて
12/5(月)											
12/6(火)											
12/7(水)											
12/8(木)											
12/12(月)											

【授業を終えて】単元を通じた自分の学びを振り返ろう！（工夫したことや意識したことなど）

### 【卷末資料 11】実践 2 の振り返りシート（入力フォームのリンクあり）

ステップ1：日本列島に住み始めた人々は、どのような生活をしていたのでしょうか。

「alt」+「Enter」で  
改行できるよ！

◇縄文文化の具体例を3つ挙げよう

◇縄文時代の人々の生活は旧石器時代からどのように変わったか、30字程度で説明しよう。

ステップ2：稻作が始まって、社会はどのように変化したのでしょうか。

「alt」+「Enter」で  
改行できるよ！

◇弥生時代に大陸から伝わったものを二つ挙げましょう。

◇弥生時代になって社会はどのように変わったか、大陸の影響に着目して説明しましょう。

ステップ3：大和政権はどのように勢力を広げ、中国や朝鮮半島とどのような交流をしたのでしょうか。

「alt」+「Enter」で  
改行できるよ！

◇渡来人が大陸から伝えたものを三つ挙げましょう。

◇大和政権と大陸の交流について、次の語句を使って説明しましょう。〔朝貢／渡来人〕

【巻末資料12】実践2の学習シート（上から順にステップ1、2、3）